京城日報

一日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

●日米兩國商議終了

石井特使と米國々務卿ランシング氏との商議は終了せり去れど一般世人より豫期せられし重要問題は概ね未解決の模様なり(紐育電報)

●露都無斷入市嚴禁

露都衛戍總督は許可を得ずして入市せる者には三千留の科料を課すべしと布令せり是れ露都に於ける食糧窮乏を緩和せんが爲なり(露都電報)

●コ將軍有罪決定

コルニロフ將軍の審理終了の結果叛逆罪と決定し將軍はピクヴ市に移送せられたり(露都電報)

●吉長條約改訂

吉長鐵道改訂條約の細目協定は愈々日支間の意見一致し一兩日中に調印を見るべし(東京特電)

●松平理事動靜

一日朝内地行の關釜連絡船缺航の爲め松平東拓理事は一日夜出帆の新羅丸にて東上すべし(釜山特電)

●石川時事新報主幹

時事新報主幹石川幹明氏及び記者小川節氏は一日釜山著連絡船新羅丸にて來り午前十時三十分發列車にて京城に向へり京城二泊の上北京へ赴くべしと(釜山特電)

●管理令施行規則全文

戰時船舶管理令の發布と同時、左の通り勅令を以て同施行規則發布されたり(東京)

勅令

戰時船舶管理令施行規則左の如く定む

大正六年九月廿九日

遞信大臣男爵 田 健次郎

遞信省令第二號戰時船舶管理令施行規則

第一條 戰時船舶管理令第一條の規定に依り許可を受けんとするものは其事由及び左の事項を記載したる申請書を遞信大臣に差出すべし

一、船舶の種類名稱及び總噸數

二、讓受けんとするもの借入れんとするもの抵當權を取得せんとするもの又は引渡を受けんとするものは國籍住所又は氏名又は名稱

三、賣買價格賃貸料又は擔保すべき債權額

四、契約日附及び貸渡の場合にありては其期間擔保に供する場合にありては債務の辨濟期

五、船舶引渡の時期及び場所

六、前各號の外特殊の事項を定むるときは其事項製造中の船舶については前項第一號の各項と船舶の種類及び資格機關の種類並總噸數計畫實馬力計畫速力起工年月日並に竣工年月日とす

第二條 戰時船舶管理令第二條の規定に依り許可を受けんとするものは其事由及び左の事項を記載したる申請書を遞信大臣に差出すべし

一、前條第二項に係る事項

二、註文者の國籍住所及び氏名又は名稱

三、造船引受價格

四、前各號の外特殊の事項を定むる時は其の事項の許可を受けたるものは其船舶に於て艤骨の据付並に水、試運轉又は引渡を了りたる時は其都度之を遞信大臣に届出べし

第三條 戰時船舶管理令第三條の規定に依り許可を受けんとするものは其事由及び左の事項を記載したる申請書を遞信大臣に差出すべし

一、船舶の種類名稱總噸數

二、豫定工事

三、航行に從事する期間

四、運送賃

五、船舶全部を以て運送契約を目的とするに在りては傭船者の國籍住所氏名又は名稱並に傭船契約書寫前項の許可を受けたる場合は遞信大臣の指定する處により航運の開業を遞信省に届出づべし

第四條 外國の一港より外國の他の港に至る旅客又は貨物の運送をなさんとする日本船舶の所有者は前條各項の事項を遞信省に届出づべし但し政府の命令による場合戰時船舶管理令第三條の規定により許可を受けたる場合又は近海航路のみ航行する場合は此限にあらず前條第二項の規定は前項の場合に之を準用す

第五條 遞信大臣に於て戰時船舶管理令第五條の規定により航路を指定して航海を爲さんとする時は航路の起點終點寄港地並に航海の期間及び度數を指示して當該船舶の所有者に命令すべし

遞信大臣に於て戰時船舶管理令第五條の規定により旅客又は貨物の發送をなさんとする時は船積み陸揚の場所及び時期並に旅客に就ては其等級及び人數貨物に關する其種類及數量を指定して當該船舶の所有者に命令すべし

第六條 遞信大臣は戰時船舶管理令第六條の規定に依り日本船舶に對し運送賃を制限せんとする時は傭船料又は運賃の最高額を指定して之を告示し又は當該船舶の所有者に命令すべし

第七條 總噸數は一千噸以上の船舶を製し得べき設備を有する造船所の所有者は左記事項を遞信省に届出づべし但し造船奬勵法により届出たる場合は此限にあらず

一、造船所の位置

二、工場船臺及び船渠の設備

三、船臺及び機械の種類、數及び船舶を製造するに必要なる器械の種類

前項の届出事項に變更ありたる時は其旨を届出べし

第八條 總噸數一千噸以上の船舶の製造に着手したる者は第二條各號の事項を遞信省に届出づべし但し造船奬勵法に據り届出でたる場合及び戰時船舶管理令第二條の規定に依り許可を受けたる場合は此限りにあらず第二條第二項及び前條第二項の規定は前項の場合に之を準用す

第九條 遞信大臣は戰時船舶管理令第七條の規定に依り收用又は使用をなさんとする時は船舶に就ては引渡の時期及び材料器具機械に就ては引渡の時期及び場所並に種類及び數量を指定して當該船舶造船所又は物件の所有者に命令すべし

前項の場合に於て船舶又は造船所共に船員又は操業者に共用せしめんとする時は其旨當該船舶又は造船所所有者に命令すべし

第十條 遞信大臣の告示又は指定せる危險區域を航行する船舶の所有者は豫め其の乘組員に對する給與方法を定め之を遞信省に届出づべし

第十一條 本令中船舶所有者に對する規定は船舶借入人に之を準用す

本令中船舶所有者に對する命令は商法第五百六十六條の規定に依り船長の權限に屬する事項に就ては當該船舶の船長に之を發することあるべし

第十二條 第二條第二項第三條第二項第四條第七條第八條及び第十條の規定に依る届出を怠りたる者は三箇月以内の懲役又は百圓以下の罰金に處す

附則 本令は戰時船舶管理令施行の日より之を施行す

第一條乃至第三條の規定は戰時船舶管理令附則第二項の規定に依り許可を申出せる場合に之を準用す

●龍山總督官邸に於ける始政記念祝賀會(上)餘興觀覽席(右は長谷川總督、左は山縣政務總監)(中)餘興の狂言(下)邸內特設郵便局

●始政七年記念祝宴

秋日和の龍山總督官邸 大食堂に陛下の萬歲を三唱

朝鮮總督府始政七周年の記念祝賀會は月の朔日龍山なる總督官邸に於て催ほされた。此の日秋日和の空は名殘なく晴れ渡りて、漢江の流れ、南漢山の山影、恰も今日の慶びを言祝ぐ如き好天氣であつた。門に五色鮮かなる大國旗を交叉せる下には午前十時四十五分といふに

▲長谷川總督 の自動車著、隨員としては釜山武官、香椎武官、齋藤副官、大島副官、神田秘書官等の人々が見えた。斯くて午前十一時過ぎともなれば馬車、自動車を驅つて來賓の劍光帽影正門に相踵ぎ一同表玄關を入ると共に階下應接室に於て長谷川總督に今日の祝辭を申し述べた。次いで正午に至りて

▲內鮮融和の 記念日 斯て午後零時半の號砲を合圖に、祝賀の大食堂に開始され官邸の階下舞踏室の大廣間には長谷川總督を主座として、官民三百六十名の立食宴を開始された。此の時總督は起つて一場の挨拶を試み今日の記念日が內鮮融和を思ふと同時に將來益々內鮮人の幸福を圖り產業の開發に努めたきものなりとの意を述べ終るや天皇陛下の萬歲を三唱し、來會者これに和し非常なる盛會であつた猶ほ此日の來賓は山縣政務總監首め本府、所屬官廳の各勅、任官各課長以上、其の他朝鮮貴族の人々、中樞院贊議以上の人々を首め

▲民間側には 鮮銀、東拓、京城電氣、十八、百册、第一銀行、東亞、皮革等の各會社、銀行の重役、李王職々員、京城府協議員、商業會議所議員、官立學校長、京城府有志、新聞通信社代表者等三百六十名、休憩場には雅致ある記念繪葉書にスタンプを押して賣り出されつゝあつた、散會は午後一時半

▲庭園餘興場 に設らへたる舞臺にては鈴木、石生、野々村氏の能狂言あり「末廣がり」「蚊相撲」共に興趣ある餘興であつた

●土地調查異動

臨時土地調查局にては十月中に調理課現任員並に整理課に屬する員合計約百名の免官を行ふ由なるが調理課は本月を以て事務終了に付現課長事務官工藤壯平氏は某方面に榮轉すべしと

●東拓改正法實施

東洋拓殖會社改正法律案は十月一日より實施したり

●東拓本社移轉

京城は一支店

東洋拓殖會社の本社は同社法並に定款により十月一日より東京丸の內に移轉したるが在來の京城本社は京城支店となれり

△京城支店祝宴 東拓京城支店にては十月一日午前十時より川上理事は足立技師谷岡參事以下社員一同を階上に召集し東拓改正法實施の結果並に將來の覺悟に就て一場の訓諭をなし終つて食堂に於て發展の祝宴を擧げたり

●東拓職制改正

東洋拓殖會社京城支店內の分課は二日發表する事に決定せしが從來の本社の三部八課制に若干の改正を加へ京城支店は現在理事川上常郎氏の下に支配人を置く事となるべく猶支配人は首席參事谷岡一貫氏說あり

●東拓重役配置

東洋拓殖會社改正法十月一日より實施の結果石塚總裁以下子爵松平理事は東京本社詰めとなり川上理事は京城支店に駐まり主として朝鮮における東拓各種事業の監督に當るべく更に高瀨理事は滿洲に駐在し滿蒙に於ける事務を總攬すべしと

●東拓の異動

東拓本社東京移置京城奉天、大連三支店新設に伴ふ人事の異動は二日發表すべし

●朝鮮鑛業會

會長と理事長

九月三十日創立したる朝鮮鑛業會の役員は既報の如く決定したるが會長を缺員とせしは內地鑛業界の先進にして朝鮮鑛業會の組織に甚大の好意を寄せし和田維四郎氏を推薦せんためにて何れ同氏の承諾を求むべし唯其の實務は和田氏會長たるも東京に常住し付朝鮮の鑛業に最も關係深き副會長の鑛務課長村田素一郎氏之れを執るべし又理事長は理事の間に目下渡米中の總督府技師理學士川崎繁太郎氏を互選すべしとの說有力なりしも一方には民間より之れを選みて如何との申出でもあり結局三十日には決定を見ざりしも近々何等かの形式に於て其の互選をなすべし因に朝鮮鑛業會に對する各鑛業家の醵金は四萬七千圓に達したるが內五百圓以上を寄附したる內地有力鑛業家の朝鮮代表者並に在鮮鑛業家は五十名なりと

●鮮銀總裁出發

久しく東上中の鮮銀總裁美濃部俊吉氏は三十日夜曾禰子爵帶同東京驛出發の途に上りし旨電報あり其の著京は二日午後九時の豫定なるも東海道線の事故障のため或は若干の遲延を見るやも計り難し

●開城面長選任

京畿道開城郡開城面にては元開城郡書記たりし久田穰氏面長として十月一日選任されたる旨發表されたり(開城電話)

●電燈經營困難

米價の暴騰は朝鮮各地に於ける電氣事業の經營を頗る困難ならしめ之れを內地に比し頗る高率なる電燈料は目下の所料金値上認可の申請を遞信當局に提出せしものはなき由なるも近く若干の値上をなさゞれば經營困難のもの二三あり何等かの方法に出づ來るべしと

●仁川米檢數量

仁川米穀檢查所に於ける九月十六日以降末日迄の檢查數量は總數五千二百七十七叺二千四百八十八石五斗にして內優等六百七十四叺三百三十七石下格四千六百一叺二千百五十石五斗を出したるが不合格は僅かに二叺一石に過ぎざりき(仁川)

●琿春事件影響

琿春事件の突發以來既に十數日を經過せるも未だ確たる交涉の結果を得ざるも漸次警の撤罷、暴行巡警士の免職、憲兵分駐所の設置、慶源琿春間の電話線架設、琿春に我領事館の要求は概ね實行せられ今は交涉の結果を待ちつゝある狀態にあり而して本事件發生以來市內各商舖は閉店するに至らざるも地方よりの購買者跡を絕ちたると市外住民は今尙任他に避難するもの多く從つて馬車の需要を增大し琿春河東蒙子には馬車不足の爲め引取を遲滯せしむる輸出貨物の停滯夥しく既に陸揚後一週間に及ぶものあり從つて各地方の河船集散なく豆滿江舟も自然減退せりと(龍井)

●東京電報延著

三十日深夜より大阪以東の電線に故障を生じたるを以て大阪以西以外の電報は一日午前一時より全く不通となり漸く一日午後一時二十分頃復舊したるも其の以前に於ける東京其他よりの電報輻輳のため一日は發著共に電報甚だしく遲延せり故に本紙の東京電報を始め大阪以東經由の諸電報は大部分夕刊締切の間に合はざりき

●間島移住鮮人

鮮人の間島移住は每年結氷期に限られ夏季の移住は殆んど算ふるに足らざりしが本年は夏季に於ても相當の移住者あり鮮人の間島移住は例年以上の數に上らん模樣なり(間島)

●忠北自動車値上

鳥致院清州間並に芙江清州間の自動車賃金は從來大人一人片道八十錢なりしを二十一日より一圓に改めたり

入と出

▲中村彥氏(總督府技師) 三十日午後歸任

▲國分象太郎氏(李王職次官) 三十日午後釜山より歸任

▲米國赤十字社員一行(十三名) 三十日午後入京朝鮮ホテルへ

▲京城高等普通學校修學旅行團 二十三名三十日午後奉天より歸校

▲鎌田彌八氏(咸興憲兵分隊長) 一日午前入京南光館へ

▲上村長良氏(大田步兵九十九聯隊中隊長) 一日朝退京

▲淸州農業學校團體一行(二十四名) 一日午前開城へ

▲福井武次郎氏(鐵道部) 三十日夜入京旅館へ

彼れ此れ

○制度の改正は、愈々本日を以て、實施せられ。第一治道上の完成は、來る七日、漢江人道橋の竣成式と共に、其の祝賀會を擧行すべしと。一は行政上の改正にして、一は交通上の大開拓たり。順に應じて件は、確實に經營上の、一進步たるは、言を俟たざる也。此の記念日に當り、時に祝意の加ふるもの多し。

○昨は慘憺たる。天津の水害を報じ、今は凄慘たる東海、近畿の風雨の報に接す。時正に仕秋、雨師風伯の狂ふ、抑も何ぞ頻々たる、天公夫れ何の意ぞ。

○獵季來る。野に山に、スポーツマンの、勇壯なる姿を見る。由來半島は好獵地として、內外人の等しく識認する處、山に猛虎を狩るにも可也、野に雉群を追ふも不可ならず。來れ好獵の射手。振へ、スポーツマン。之より諸君の天地に非ずや。

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城 朝鮮銀行

電話 總裁席 一、一〇六、一一一、一三六〇、一三六一

支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村

出張所

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

結婚のしるべ

淑女画報 十月特別號

傳奇小說 フセット 鈴木滿方
思ひ出 永地秀太
中御宮御見送りの梨本宮各殿下
竹田宮家の御栞(最近の各宮殿下)
伏見桃山御陵參拜の北白川宮殿下
白馬岳に御登山の東久邇宮殿下

讀物の要目
婚禮式より 新婚旅行まで(支度研究)
小公子(バアネット女史作の家庭小劇)
令孃 琵琶湖巡り
荒菊白菊(酒井伯爵邸の菊花)
比叡山上生活の京阪名流
竹冷宗匠邸の七夕祭と大阪の能樂會
懸賞寫眞 季節判じ(受賞者百名)
上方の婚禮支度 花嫁と衣裳
諸國婚禮風俗 北國と北海

附錄 風刺寫眞 花婿
事實小說 亂菊物語
經典新譯 阿難の眼

結婚禍福の分岐點 井上博士
大倉勝子孃婚禮記 里女
結婚媒妁內證話
結婚の人に與ふる餞別の言葉
結婚の見合に利用さる、場所
結納より里入までの儀式 松竹梅

讀物の要目
三越呉服店の取扱つた 婚禮の支度の最新傾向
見合の歌會(結婚思出)
見合から返禮 までの費用しらべ
二人の娘を嫁かせた紅葉未亡人
黃昏の花と蔀の香(源氏物語)
夢商人(童話新集) 吉井勇
日蓮聖人靈跡巡禮記
容姿を美しくする食物の攝取法
愛の勝利(家庭小說) 小栗風葉

本店移轉及支店設置

弊社儀從來朝鮮京城に於て營業罷在候處今般業務擴張の爲左記の通本店を移轉すると同時に支店を設置致候間此段廣告候也

本店 東京市麴町區內幸町一丁目三番地
京城支店 朝鮮京城府黃金町二丁目百九十五番地
奉天支店 滿洲奉天西一條街五號地
大連支店 同 大連市百十二區二十六號地

大正六年十月

東洋拓殖株式會社

空中の偉力 (承前)

我國の飛行界は如何なる現狀にあるか

國民飛行會長 長岡中將談

拂て開戰後の飛行機の狀態はと云ふに歐洲にては甚大なるものは一千二百馬力を有し大砲、機關銃、二挺無線電信を備へ乘員一十八人乃至十二人を搭載し一時間百三十哩を翔り其數は聯合國側一萬五千臺同盟國側七千臺合計

二萬二千臺以上

に達し居れり此飛行機が至りては八は死斯容積五、五千立方メートル航空三千五百哩を馳せ即ち新嘉坡なり青島なりより發して東京に飛來到り其間に還ることが出來る其ら云ふ有樣であるから日本都市の如き木造家屋を建て連ねたる地所は燒け玉……爆彈は必要がない……を投下すれば東京の如き僅に十分間にて全都市が焦土に化して仕舞ふ此の燒玉と稱するものはテルミットと稱して 水を以て消すことの出來ぬ偉大なる燃燒力 を有するもので之れを玉の中に仕込み市街家屋の上にパラ〳〵降り散らして往くのである假りに斯くの如き飛行船なり飛行機なりが四方八落も飛び來つて大阪、名古屋、東京と降り散かれて御覽なれで以て大體の勝負が附くではないか百萬の士卒あるとも數萬尺の上空より燒玉なり爆彈なりバラ〳〵遣られては如何とも策の施すべき手段がないではないか猶ほ又近頃

◎鐵の矢尻の如き

物を飛行機より夥しく落下せしめ兵を殺傷にして往くものが出來た之れも恐るべき武器で空一面から多數、鉛が倒落して降ると云ふことであるが其落下の速度で鋼鐵の甲を拔き人を貫き馬腹に

◎其使者の任務を完ふした

と云ふ話である、第二は偵察任務で大正三年に於て佛國が偵察に使用したる飛行機の時間は六箇月に一萬八千時間、距離が四十五萬一千メートルで即ち地球を四十八遍巻く丈けの距離を航せしめて居る今日にては騎兵の偵察抔はまどろしく兎ても間に合ふものではない敵の狀態は之に採る如く觀察が出來る許りか倫敦に居ながら敵の動靜で明かに知ることが出來

◎塹壕に隱れて居

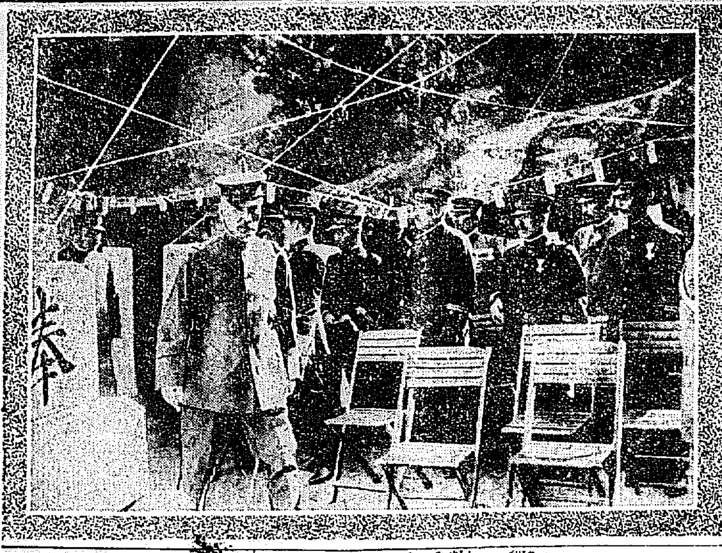
ても上から見降すことであるから隔から隔まで窺ふことが出來るのみならず現今にては二百尺の上空より天氣さへ好ければスッカリ寫眞に採りて持ち歸り敵の陣數、大砲の數がチャント參謀部に知らせることが出來る何を云ふにも斯かる次第であれば大砲でも之れ迄は及んだと云ふ現にエッキス光線を寫した寫眞を見たのである飛行機の任務を今之れを三つに區別すべきことが出來る第一は通信任務である此通信のことに就きて一つ面白い話がある

獨帝のウヰルヘルムが露帝のニコラスに相談を要すべきことがあつた際飛行機に四て通信せんと計りしに男子にては一の際に危險であるからとて婦夫人ドラドシッユに託して送らことにした如何に獨逸人は野蠻であるとも婦人に對してはヨモヤ疑を抱くまいと遂に差立てたるに無事にワルソーに着した

第三は射撃 遙かなる陣地より射撃することが容易に出來る 易であるから兎ても彈が届かぬ之れに反して上空からは著彈位置を報ずる事が容易であるから偉大なる有利の攻撃が出來る昨年の一月一日のことであつたが佛國のナンシト市の上空から今日の九時には砲撃をするから左樣思ふて居れと云ふ脅迫的の廣告を撒き散らしたれども敵は數里の陣地に駐屯して居ることであるから全く脅すことゝ思ふて居たところ其時間が來るとドン〳〵大砲の彈が市內に飛んで來る夫れが又た的中する何處から打つてるかと思ふと八里半の先の陣地から發射して居ると云ふ

◎斯くも遠距離の

地點より大砲を發射し得ると云ふことは全く飛行機の働きで以て著彈距離を推定することが出來る爲ある部隊を密集せしめば例の四五寸の針が無數に降つて來るので停ることも出來ぬ又進軍すれば空中から鉛筆で寫し取られて行動を覺知せしめらるゝと云ふ譯で今では白晝の行軍は出來ぬ樣になつて仕舞つた(つゞく)



◇長谷川總督以下の參拜 (京城神社に於ける記念日祭)

●總督府始政七周年 記念日祭

總督以下參列

總督府始政七週年記念日祭を十月一日午前十時より京城神社に於て執行したるが長谷川總督、山縣政務總監を始め古海拓務總長、各局長官、局長、其他高等官、閔李王職長官、國分次官、朝、貴族、並に民間の重なる人々參列し一同定めの席に就くや祭主祭員合人參列者一同修祓をなし伶人は森嚴なる神樂を奏し祭主谷村神官、昇殿次で祭員以下山川の神饌を供し次で奏樂裡に谷村祭主神前に祝詞を奏し玉串を捧げ終りて御代其他總督以下參拜者一同玉串を捧げ午前十一時三十分式を終り尚ほ日李王御名代李東武子、李太王御名代金熙明、李堈公御名代 參列したり

●關西暴風雨

諸川大增水—通信機關殆んど杜絶—阪神地方被害夥し

◆兩三日以來降り續ける雨は三十日夜に至り九時頃より暴風雨となりたり唯今迄に接手したる諸報によれば山城伏見町は宇治川氾濫し市街に溢れ大半浸水し軒を沒せる箇所あり京阪宇治線は運轉中止となり京都府諸川は大增水の爲め福知山町及び附近村落の民家に浸水し橋梁家屋の流失尠なからず

◆神戸附近にては午後十時頃和田驛附近の踏切番暴風の爲め吹き飛ばされ瞠ど軌道の上に倒れたるが折柄列車進行し來りし爲め無殘にも轢き殺されたり此外にも被害尠なからず

◆大阪府にては諸川增水し淀川は一丈五尺に達したり枚方町は危險につき警戒中なるが其他川筋も亦村民等總出の姿にて警戒中なり、阪堺電車は一日午前一時運轉を中止し南海電車は三十日市街にて土砂崩壞の爲め架線不通となれり

◆東京大阪間の電信は三十日午後五時半七廻線中六廻線は不通となりしが同十時より全部不通となれり、名古屋大阪間、神戸大阪間の電信も亦不通となり十時過よりは山陽、九州、山陰各線の一部亦不通となれり

◆大阪市中に於ても建物、屋根、看板、塀等の吹き倒されしものあり築港諸線又損害尠なからず一部低地は浸水し電燈は屢々消えたり(三十日午後十一時發大阪特電)

●慘澹たる帝都の光景

倒壞家屋算なく=十數箇所より出火=光景慘澹

一日朝二時頃より東京に大暴風雨あり電信電話線は勿論燈線の被害夥しく市中は全く暗黒の世界と化して風伯の狂爲に委したるより倒壞せる家屋算なく市中十數箇所より出火する等全市を擧げて凄絶慘澹の光景に陷りたるが五時頃より風力衰へ天漸く霽れたり人畜の死傷等少からざる模樣なるも朝來市中は戰場跡の如く未だ詳細の被害高を知るに由なし(東京電報)

●十二名 激浪に浚はる

汽船豐川丸門司沖で難破す

下ノ關秋田商會所有汽船豐川丸(百六十噸)は二十九日夜下關を發して對馬西泊へ向け航行中暴風雨の爲め海上に於て大時化に遭ひ船內に海水浸入せしを以て機關を休止するの已むなきに至り門司港外城島の北一浬の地點に投錨せしが三十日午前八時二十分浸水の爲め船尾に積みたるカーバイト爆發して同三十分沒するに至りしより船客は端艇に、船員は浮袋によりて下船して怒濤と鬪ひ海上に漂ひたる所同十時折柄同所附近航行中の露國汽船エドワードバリー號に發見せられ救助されたるが船客四十三名中九名、船員十七名中三名は激浪に浚はれて行衛不明となりたり損害積荷とも約八萬圓なり(門司特電)

●二名の將棋倒れ

死傷者數名を出す▲

—開城白參製造所の椿事—

一日午前四時四十五分頃開城高麗町開城參業組合經營に係る白參製造工場にて交代鮮人女工三千名許入場從業せんとする際先頭の者が

▲過つて轉倒 したるため其れが折り重なりて將棋倒れとなり大混亂を極めたる結果互に重り合ひて下敷きとなり壓迫されたる者の內三名の卽死者を出し其の他重傷一名輕傷三名を出したる騷ぎに工場員及び警察署より森醫署長其他警部以下の署員馳付け負傷者には警察醫が

▲應急手當を 加へし上病院に擔ぎ込みて目下加療中なり因みに同所は毎日數千名の工女集まり交代と共に入場從業するが例なるに之れが爲め警官出張し取締り居れるが賃金は時間制に依らずして其の分量高の成績に依ること丶て閉門と共に先を爭ひ雪崩を打つて入場する風あり爲めに斯の如き椿事を出したるもの丶如しと(開城電話)

●古靭來る

▽世話淨瑠璃の名人

滿洲各地を巡業し好評を博しつゝある豐竹古靭太夫一行近日中に京城に乘込華々しく開演の筈なるが

▲一行の顏觸れ は古靭太夫、野澤吉彌、竹本綾太夫鶴澤德太郎、竹本靜太夫芳之助、明石太夫清二郎其他十數名の大一座にて何れも大阪文樂座に於ける花形揃ひなり、古靭太夫は故津太夫の門人にして八歳の時より文樂に勤め十六歳にして序中に進み太夫界の寵兒と呼ばれしが先年故名人靭太夫の名跡を繼ぎ現今にては押しも押されもせぬ語り手として並ぶもの無くその域に入ると云つても好い程の

▲立派な語り方 文樂太夫は先年伊達太夫と共に來鮮し美しき若き語り口は既に定評あり三枚目の靜太夫は大隅が臺灣で客死した際三代目大隅の襲名を言したゝめ大隅門下の一問題となつたほどあつて斯道に熱心な事驚くばかり、語り物は世話、時代を問はず語り消化すので黒人より將來に

▲多大の望みを 囑されゐる、三味線の吉彌、德太郎、芳之助、其何れも腕達者揃ひにて殊に德太郎は當地の師匠小庄と師弟の間柄なりとの事なれば京城義太夫節は同人のために後援會を組織するとの噂あり、兎に角久し振りの文樂一座、京城に於ける近頃の聽物なるべし

◆記念繪葉書五千組の賣切れ

京城郵便局にては一日午前六時より始政七周年記念繪はがきを發賣したるが昨年に比し頗る好况にて午前十時頃には既に五千組賣切れとなりたり記念スタンプ押捺は一日より向ふ三日間一般の需めに應ず可く一日は早朝より繪はがき書籍其他の紙類等にまで押捺を需むる者多數詰め掛け仲々の好况を呈したり

●連絡船の缺航

三十日夜下關出港の關釜連絡壹岐丸は風波の爲め途中より引返したため一日釜山出港の連絡船缺航となれり(釜山特電)

●腸窒扶斯頻發

京城本町三丁目五十番地吉村龍藏(九つ)京城旭町二丁目百九十九番地[illegible]は二十九日腸窒扶斯に罹り何れも[illegible]

去る六月十七日嵩山郡長川面上[illegible]其後朴の爲め傷害の告訴を提起され大邱地方法院にて公判の結果[illegible]

●連絡船上陸 各三十日午前八時三十分釜山入港さくら丸[illegible]

四郎、加藤安次郎、木村萬作[illegible]

課題募集規程 [illegible]は同形の用紙一枚毎に住所氏名明記の[illegible]

天氣 は 晴れ一時曇り

商況

有價證券現物特電 [illegible] 一四五、〇〇

東京公債直取引 [illegible]

深川正米特電 [illegible] 九六、一一

東京期米特電 [illegible]

大阪株式同電 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米同電 [illegible]

雜報

●三品更に低落 [illegible] 十錢高 米棉十錢安 六十錢と去月二十日に比し五六圓乃至八九圓安 綿布龍レー七圓九十五錢 八圓鷲綾 八圓十錢 三銘先物七圓八十錢

●正米再び活躍 [illegible]

●石油の其後 [illegible]

●洋箔は騰貴 [illegible]

機械油 [illegible] 商情稍軟弱

●藥品又復暴騰 [illegible] 二割方

順調に進むべしと

冬物取引も至極 [illegible]

需要漸次に增加 [illegible] 別品に代

●色物織布好望 [illegible] 騰値二十圓五十錢を突くに至らんか

大正元年の [illegible]

沿線地方共に [illegible] 確かな鮮共に

如何なる邊を相場 [illegible]

此處再度 [illegible] 騰貴の狀

二十圓以下 [illegible]

一萬枚 [illegible] 七十圓

●賜金市行惱み 市中在荷頗る豐 [illegible]

下關市場 [illegible]

京城正米 [illegible] 十圓見當 並玄米 [illegible]

南大門の廻穀 值を演出 眼先一吹高

各地商況 [illegible]

釜山穀物(三十日) [illegible]

白米標準値 二十三圓四十錢

小賣白米 [illegible]

▲第一回豫想 [illegible]

▲正米の近況 [illegible] 京城方面よりの買望 更に高人氣 [illegible]

▲當限依然下鞘 [illegible] 中限より二十錢乃至三十錢 下鞘見當 [illegible]

五千八百五十二 萬三千三百十四 石說尤も信 [illegible]

▲新甫の氣配 [illegible] 大阪天候曇天 [illegible] 二十一圓八十九錢と前に比し賣に六 十一錢大上放れ [illegible] 新甫十一錢上鞘二十二圓 九十錢の入電 [illegible] 十五錢と更に暴騰 [illegible] 新甫二十二圓

▲大阪大上放れ [illegible] 出水區域廣く大暴風雨 [illegible]

下鞘人氣の新甫 [illegible] 十一錢上鞘を報[illegible]

◉記念繪葉書中の高勾麗風俗

＝朝鮮現在の服裝の由來＝

中樞院書記官　小田幹治郎氏談

十月一日を以て發行せられたる始政七周年記念繪葉書三枚の中一枚は高句麗の風俗を寫したもので原圖は平安南道龍岡郡池雲面安城洞の古墳の壁に描いてあつたものです（現物は今總督府の博物館に保存してあります

◆◆高勾麗の風俗に就◆◆ ◆◆ては支那及び朝鮮◆◆

の書物に多少散見して居りますが文字の記述のみでは實際を想像することが甚だ困難であつて而も其の記述が單に一部の特徴のみを摘記してあるに過ないのですから參考の資料としては實に心細いものです然るに先年總督府に於て平壤方面の古墳を調査した際多くの壁畫を發見したのです

◆◆今回の記念繪葉◆◆ ◆◆書に撰ばれた◆◆

繪も其の一つであつて其の繪のあつた墓は內部に前後二つの石室があつて其の六つの石室の間にある道路の兩側に八角形の柱があるので調査員が假に雙楹塚と名を附けたのです此の墓には內面から其の上に厚く漆喰が塗つてあつて其の上にいろいろの繪が描いてありますが墓の入口に當る通路の兩側の壁に今回の葉書の繪があつたのです其の通路のことを昔から羨道（是は普通センダウと讀みますが正しい讀方はエンダウです）と申して居りますが是れは

◆◆靈魂の出入す◆◆ ◆◆る通路だといふ◆◆

ことです朝鮮には墓の前にある石碑には大抵神道碑を書いてありますが是も靈魂の通路即ち神の道に立てる碑といふ意味だそうです、葉書の繪は男女各一人を採つて組み合せたもので男の方は頭に冠を戴いて居りますが是は高勾麗では骨蘇多と申した冠でありまして羅を以つて作り鳥の羽（雉子の尾）二本を飾に附けて

◆◆更に前の方に◆◆ ◆◆金銀の飾を◆◆

附けたものです縫の色は王は白大臣は靑次は緋といふ制であつて又一般に紫を用ひたやうです髮は髻を結んだもので琉球人の頭のやうです上衣は筒袖で襟が附けてありますが是は大袖衫と申しますが當時は所謂左衽であつたと見て右前へが上になつて居ります地質は細絹で色は單色染のやうです又細い帶を前で結んで端を下げて居りますが白の革皮を用ひたものです袖口に黑の襟が重なつて見ねますが

◆◆是れは肌著の◆◆ ◆◆袖が出て居る◆◆

のです下衣は大口袴と申して中程から二本の筒になつた袴で著ける時には下の端を締めるのです色は白で地質は細です履は黃色の皮で作るのが普通で上流は黑絹に白糸を以て飾を附けたやうです女の方は頭に手巾を纏ふて居りますが之を巾幗と申します當時頰に紅を塗る風習があつたと見ねて頰に紅色を點じて居ります上衣は筒袖の襦と申すものでそれに二重の襟が附けてあります是も地質は細類で單色染であります

◆◆襟の所に刺繍◆◆ ◆◆で模樣を附て◆◆

あつて是も右前が上になつて居ります袖口に出て居る紅と白とのダンダラは肌著の袖で襟の所にも少しばかり見ねて居ります下衣は裙と申して地質は絹類色は白です是は細かく折目をつけて長く著けたもので幅の廣い襞の多い程ハイカラであつたのです、此の男女は士人と宮女とを描いたものと思はれますが

◆◆服裝の優美に◆◆ ◆◆して淸楚たる◆◆

には坐ろに當時を偲ばれて現在が何となく野暮なやうに思はれます高勾麗の平壤附近に於ける歷史から見て大略千四百年前後と推定する外はありませんが之を法隆寺の壁畫に比べますと百年餘り前のもので法隆寺の畫は唐代の俤畫でありますが

◆◆此れは當時の◆◆ ◆◆風俗を寫した◆◆

もので歷史の參考としては彼の比ではありませぬ又此の風俗は昔物の上から考へますると百濟の風俗とも略ぼ同一でありますから之に據つて高勾麗の風俗を知ることを得ると同時に百濟の風俗の參考になるのです殊に不思議なことには朝鮮現在の男女の服裝が大體に於て之と一致して居ることです

◆◆男の髮の結方は◆◆ ◆◆現在の髻と略◆◆

は同一であつて上衣は唯襦がない許り下衣は全く同じで履も殆ど似て居ります肌著も汗衫と申して襦襖の時などに手の先だけに下げる風習があります女の髮の結方は現在のは二つあつて一つは後の方で結んで簪で止めるのですが一つは頭の上で二つに結ぶ是は百濟の風でありますつまり高勾麗と同一です手巾を頭に纏ふことゝ平安北道地方では一般に行はれて居り其の形も同じです上衣も同じで袖口に襷を附けることは

◆◆今も同じて◆◆ ◆◆唯周圍の襷が◆◆

ない計りです汗衫も襦襖の時など付けます下衣は全く同じで履も

＝龍岡雙楹塚羨道壁畫＝

（約一千四百年前高勾麗士女の服裝）

漁況引直

不漁の期間過ぎ鯛の水揚增加す

近年に無き沿海の不漁は從つて又近年になき鮮魚の高値を呼び漁業者の困憊と一般需要者の不便甚だしきものありしが昨今漸く實際漁期に入れるが如く鯛の水揚げ幾分增加し來れり例年九月末頃には盛んに漁獲すべき筈なれど本年は潮流等の關係に依り多少時期の遲れたる感あり殊に厄日前後より常に海上の風多く漸く兩三日より晴朗平穩天氣固定したるが如きを以て之より追々漁獲の最盛期に至るべし然れ共本年は

槪して不漁を免かれざるべく仁川の水あげは多くは鯛を主とするものなれど本年は例となるべき海月の浮遊するものさへ少なきが如く殊に月餘の不

漁にて漁夫の幾分は既に南鮮西海岸、木浦方面に引揚げたるものあれば出漁船の數も減少せり、されど鯛一時は三十圓臺を衛かんとせしも昨今二十二、三圓の處にあるを以て近々に二十圓以內には下降するに至るべし、水產會社に於ては本年の此の不漁なりしに似ず其の魚價に於て突飛の高値に在りし爲め賣揚げ金額は却て增加し九月中の總額約一萬三千圓にして之を前年九月に比すれば尚ほ二千六百圓の增加に當れり（仁川）

◉此頃の釣は

‖仲買泣かせだと着屋の大恐慌‖

穩やかな深碧の海に扁舟の底を洗はせて小島隱れに綸を垂れ心地好い秋風に煙草の煙りを靡かせつゝ手應へを待つ舟釣りの一日は又ない樂みである、而も其の樂みを惠まれた仁川の人士は暇さへあれば鹽輕ろく思ひ思ひの方面に舳を向くるのであるが、今此頃の釣れ事と來たら、どんな素人でもセゴの五十や六十は一時の間である ■少し上手になつて■ ■手加減でも覺ねて■ 來ると百尾上二百位わけは容易に釣れると云ふのだから『釣と來ア俺は……』と少々天狗氣のある者は何は扨て置いても行かねば居られぬ、こう云ふ連中が近頃の朝の棧橋には雜沓して居ると云ふ有樣で歸りには持たれぬ位の獲物を擔いで來るのだから肴も堪らない、五十が百尾にもなるともう家族だけでは食ひ了せぬから隣近所に配つた上に懇意な者には分けてやる ■肴屋が賣りに來て■ ■も肴は持つて居る■ よと斷はらるゝから堪つた者じや無い、さらぬだに近頃の樣に鮮魚が高くては賣り惡くて弱つて居るのに仲買人は泣き出さん許りで之じや行けないから舟釣禁止を願ひ出して內地の樣に鑑札制度にして貰はねばと愛釣家には妙な怨みの低氣壓が出て來た位ゐである。此の二、三日は潮が大きくて釣には駄目だが來るべき日曜頃になると又最も恰好の潮加減となるので大した獲物が得らるゝだらう。此の頃では何れの方面が好いかは例の浦にかけてニベ、石首魚、ハモに依つて小月尾島の沖から月尾島なども揚りぜーゴや或は二尺大の鯔でも揚げようと思ふなら少し北の靈島附近が最も好いとの事である（仁川）

◉二日の大掃除

二日の京城市中の淸潔法區域は南大門通一丁目、南大門通四丁目、御成町、蓬萊町一丁目、南大門通三丁目、南米倉町、池町一丁目等

◉大同江渡船

‖愈々府營‖

大同江渡船府營に就ては既報の如く其後平壤府當局に於て諸般の調査及び準備中なりしが愈々十月一日より府直營と決定したるが渡船賃は從來一人二錢五厘の處を二錢に引き下げ各學校通學生に對しては賃金を徵収せず尙行々は船體を新造し以て舊來の渡船に比し面目を一新すべしと

渚の砂

■亂暴な自動車■ 大阪北區樫田町德村四四の筋石百二十一號自動車に塵本久次（二〇）の者尾芳太郎（二二）の兩名が乘り組んで疾走中二十五日夜東區高麗橋北詰の假本屋西向吉三郎方に闖入して戶口を破壞したる上に來客北田原郎（三三）を傷けた ■博徒の狼狽■ 大阪府西成郡今宮村の木賃宿篠田つや方で二十五日夜五人の者が數賭の中で賭博中の所へ巡査が踏み込んだので狼狽た一同は數賑の中で互に挾み合ひ一圓りになつて二階から轉げ落ち土方三田清太郎（三一）は卽死し外四名も重傷を負ひ [illegible] ■不注意から火に殺さる■ [illegible]

灯と坂し

■家扶十萬圓橫領■ [illegible]

■動物の供養會■ [illegible]

◉路傍大說敎會 [illegible]

▲宴會の餘興は却々難かしいもので折角の凝らした意匠が會の性質とシックリ合はなかつたりする事も往々あるもので▲何處でも大抵紅白球燈に段だら幕、造り花に藝妓の手踊りと型に嵌つたものが多い▲龍山總督官邸に於ける一日の記念祝賀宴會の餘興に狂言を撰んだ事は如何にも上品で宜い思付であつた▲舞臺も古式のお能舞臺を設らへ、第一番目に『末廣』を演じ素袍姿の大名が『喃々天下泰平の御代なれば』はいかにも場所に相應はしく▲七化八道に擴がる末廣のゆかりも芽出度く『八道山河節』と云ふ氣象が寫つて居る▲最後に『高歡樂』を演じたが何れも大喝采であつた狂言は恐らく之が朝鮮で出たのは初めてゞあらう▲狂言はあつさりとした上品の諧謔を以て固くならず古雅な中に人の頤を解き何處迄も野卑に墮ちないところが此の種の宴會に入つたものだ▲斯う云ふ風の我國固有の演藝は時流に顧ねらず飽まで古い型を其儘に行つて貰いたい▲序でに三十日の晩の朝鮮興業會の宴會の餘興には鑛山の現場を撮影した活動寫眞を映して見せ來客をして其の壙を踏んで鑛物採掘の實地を見るが如く感ぜしめたものであつて餘興が其の宴會にシックリと合て面白かつた同席の西洋人の奇術も中々手に入つた所を見せ▲目先が變つて中々の喝采であつた

台所 すの日く

▲松茸飯 [illegible]

演藝案內

櫻井町 大正館 電話八七三 [illegible] 第五レッドサアクル [illegible]

京城壽町 壽座 電話五七八番 [illegible]

黃金館 電話二三六七 二三六六 [illegible]

有樂館 [illegible]

第五レッドサアクル 十九編の內九十編四卷上場 日活特約 大正館

家庭劇 憂き身 四卷 新派 舊劇 天一坊東下り

連夜滿員好評 コミカルマジック [illegible]

本町五丁目 稻荷座 [illegible]

京城明治町一丁目 電話二四番 贊化病院 醫學博士 古城憲治 醫學士 上野亮藏 岡山 內科 小兒科 入院隨意 無料施療す 每日五名を限り

直治水 眼病一切の特効藥

尾張本場 ▲桑苗提供 ○定價表無代進呈 愛知縣丹羽郡千秋村加茂 千秋園 農園主 伊藤松太郎 （其他山林用果樹苗各種 はがきにて御照會相成度候）

支那料理 値上廣告 今般原料騰貴の爲不止得從來より二割の値上を決議し十月二日より實行可致此段謹告仕候也 京城 支那料理組合

◉朝鮮名物◉ 栗夫羹 電話四七五番 京城本町 龜屋

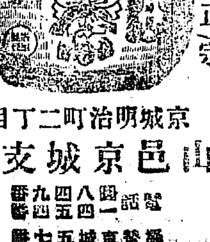
謹告 今般朝鮮へ渡來の際は御多忙中不拘態々御見送被下候深謝候勿々御名刺頂戴仕候以紙上御挨拶申上候 十月一日 伊藤憲隆 松枝

京城明治町 電話二六〇 浪花館 [illegible]

「赤玉ポートワイン」は健胃、補血、興奮、強壯の効顯著なる葡萄酒なる事は既に七大醫學博士の賞讃と證明せらるゝ所にして今や各大醫の藥局に於て滋養劑として常用されつゝあり、其味美なるに依り婦人小兒の口にも適する美味滋養の葡萄酒なり

七大博士の實驗に證明を有す

比較は最良の撰擇法なり!!



京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話 八四一 九四五 四四九 振替京城五七番

月刊商報呈送仕候 粧品部全物一 雜貨 問屋 釜山大廳町一丁目 明治屋本店

□募集規程 [illegible]

左甚五郎

第四十三席

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

仕立屋の善吉と鮨師の松兵衛の両人は相談をしながら這つて參り、松『ダガ善吉さん、甚さんは酒道樂で女郎買は嫌ひだと云つたら何うするね　善『それは然う云つたつて其處へ打ツかつて見れば豈夫厭だから、俺は踊ると云やアしねえよ　松『あゝ成程』善『交際だからまア宜いじやアねえかと云ふやうなことを云へば、面白可笑しく遊んじまうじやアねえか　松『それりやア宜いけれども、お前なんざア何うだえつて馴染があるかね　善『松兵衛さん、お互ひに滅多に廓へなんぞ入ることはねえ、お前もそんなものがあるのか　松『それが無ねんだ、俺も久しく行かねえからなア　善『それじやア恁うしようじやアねえか、表の經師屋の六坊を伴れて行からじやアねえか、奴は地廻りだもう廓を一と廻り廻つて來なけりやア寝られねえなんて云つて居る位なもんだから、奴を伴れて行けば大丈夫だ　松『それじやア然うしよう、けれども後であの經師屋の親父に云ひ草を云はれるぜ、松兵衛も善吉も宜い年をして、家の倅を伴れて行つてなんで　善『それは毎晩でも伴れて行けば兎に角、情を話して恁うだと云へば八釜敷こともこ云やアしめえよ　松『それじやアやらかさう　善『宜からう』と仕立屋善吉と鮨師の松兵衛と相談して、表の經師屋の倅にも、恁う〲恁ういふ譯で恁ういことにするから」と約束をしたから、六三郎は大變に喜んだ　善『松兵衛さん六坊に話しをしたよ　松『それは宜いけれども甚さんは出掛けるかね　善『出掛るかつつて出掛けさせる丈夫があらう　松『何らいふ風に　善『何でも構はねえ、良い酒の話しをして、そりやア恁う〲恁う云ふんだ……　松『ウン　善『恁う〲合髄を打つてくれなけりやア可けねえ　松『ウン　善『あの人だから、是非行きてねてムふやうな譯で、乃で引張り出してしまうだ　松『成程それは宜からう……』と二人の謀んだことなぞは知りませんから、甚五郎、松兵衛と善吉の二人が何うしたんだと思つて、心待ちに待つて手酌でグビリ〲初めて居る　善『甚さん今日は　甚『オヤ善吉さん待つて居たよ　松『今日は　甚『あゝ松兵衛さん、相變らず揃つて遣つて來たね、さア〲此方へ　両『有難う〲　甚『何うして昨日來なかつたんだ　善『イヤ昨日はお前さん交際で、據ころ無ねことで出掛けた　甚『然うかね　善『イヤ有難う……ナニ恰當此の位のお燗が宜いんだ、燗てのものは六ケ敷もんで、餘り通り過ぎても叶けねえが、と云つて餘り温いのも困らア　甚『松兵衛さん一ツ　松『有難う……
……善吉さん、甚さん所の酒だから惡いといふ譯じやアねえが、日さ飲つた酒は俺は此の緒切つてあの位ゐ美味え酒を飲んだことは無い　善『然う〲』、俺ももう一度彼處で飲らうと思つて樂みにして居るんだ　松『良い酒だね、あんな酒は無ねえ　善『本統だよ、穀があつてピンと來る所なんざア甘口が好きだつて、他人は兎に角、酒飲みにはあの位でなけりやア叶けねえ　甚『善吉さんそんなに良い酒があるのかね　善『だからさ、今も松兵衛さんの云ふ通り、お前さんの所の酒なんざア、何時來たからつて押しも押されもしねえ立派な酒だけれども、俺共が飲つたのはまア〲銘酒と云ふんだね　甚『ド、何處だねそんなに良い酒があると云ふのは、是非今度伴れて行つてくれ、然ういふのを俺も一ツやつて見てえからな　善『飲るかね　甚『ウン　善『松兵衛さんお前の方は　松『結構だ、今からで恰度宜いね　善『恰度宜い……おやア甚さん行うか　甚『前に伴れて行つてくれるかえ、そりやア有難え』甚五郎酒が好きだものですから悉皆酒に欺されてそれおやアと云ふので此處を立出ました。

十月三日九星

舊八月十八日戊寅　本命一白　北東　先勝

▲一白● 隣邑に於る事件目論見は合同方に吉 [illegible] ▲二黑● 一寸邪魔する事件目論見は [illegible] ▲三碧● 折合よ [illegible] ▲四綠● [illegible] ▲五黃● [illegible] 不良 ▲六白● 智術發展の [illegible] ▲七赤● [illegible] ▲八白● [illegible] ▲九紫● [illegible] 用ゐせらるべし

●マラリアに一番ヨクキククスリハ
龍山林藥房製劑の
マラリア特効丸
金十錢卅錢五十錢　郵稅二錢
僞ニセモノアリ御注意
本舗　龍山　Ⓗ林藥房
京城本町一丁目　代理店　合資　山岸天祐堂
釜山辨天町二丁目　代理店　大黒南海堂

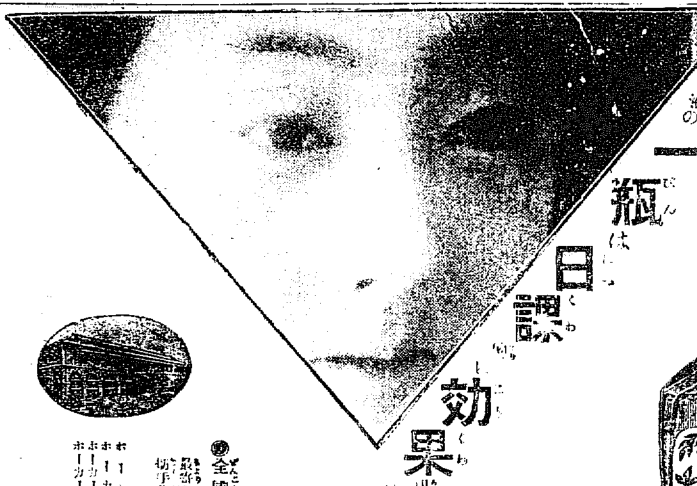
內科、眼科、小兒科　本田醫院
院長　イ田［illegible］
京城黃金町二丁目　電話二四四三番　振替京城三三二八番

痔核。痔瘻。脫肛痔
裂痔。痔出血。直腸脫
本田院長　所謂
京城肛門病院
肛門病の話 [illegible] 解說書入用の方は郵券十二錢を送

容貌の美醜は別として
看護婦の顏の肌はナゼ彼那に美しいのでせう？
例へば [illegible] でムいますが、何處の看護婦でも看護婦といはるゝ方の顏のキメは皆細かで、色が白うムいますが、何故でせう。
これは職業柄知らず〲の内に……
醫學上の作用
ある肌の料を仕事の際々に始終附けるからでムいます
秋の肌をクッキリと色白くする
東京で一番よく賣れる家庭化粧料
ホーカー液
はこれと同じ理に依り美人と致します

定價
小瓶（包裝）二十錢
中瓶（同斷）四十錢
大瓶（同）八十錢
内地無料

肌の營養料として
肌にピタリと合つて、肌心地のよい感じを與へるのは、原料の善惡が第一で、後から肌を荒すやうでは、いはゆる肌の養ひ料と申す事は出來ません



ホーカー液の一瓶は一日の課に効果がある

●全國到處に販賣す
最寄の店に品切の際は振替又は三錢切手代用にて御注文下さい
ホーカー白粉　ホーカー液本舗　ホーカー美髮液　ホーカーポマード
東京神田和泉橋　堀越嘉太郎商店
電話神田特長一四四三　一四四五　一四四六
振替東京

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials by thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of week constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism.
The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.
Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and to recover, easy to be absorbed and assimilated.
Price ¥ 1.50

滋養強壯料

○ミツワ規那鐵葡萄酒
病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき
香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絶

▼如斯人は滋養料○ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし▲
一、食餌の進まぬ病人
一、營養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹り易い人
一、産前産後の滋養を圖りたい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色蒼く肉瘦せ活潑ならぬ人所謂腺病質の人
一、腺病即ち瘰癧に掛つて居る人
一、頸腺長く腫れ咳嗽や痰の人並よりも多く出る所謂結核性素質の人
一、肺結核や腸結核、肺尖加答兒や肋膜炎、其の他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、右の如き病で發熱の永く續いて居る人
一、下痢の永く續いて居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に悩まされて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に悩まされて居る人
一、萎黃病など血液の病に罹りて居る人

定價　一壜　金壹圓五拾錢　内地以外は運賃を加ふ

MITSUWA GINSENG WINE

Mitsuwa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and force, is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power.
Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous debility, Inutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria.
Price ¥ 1.50

模範強壯料

○ミツワ人參葡萄酒
健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の强壯を圖り尙新活力を賦與し得べき
風味高潔清和滋養豐富
精力增進興奮作用優秀

▼如斯人は強壯料○ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲
一、精力を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、體力を增したい人
一、身體を强壯にしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、延年長壽を願ふ人
一、病苦や不快な感想を忘れたい人
一、精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一、食餌を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、營養を良くしたい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、勉強又は勞働して疲れた人
一、生來虛弱な人
一、身體の虛削けて居る人
一、貧血して居る人
一、顏の色蒼褪め艶の無い人
一、手足や腰腹が冷て寢附れぬ人
一、些細の事まで氣にかける人
一、悲しい事も無いのに泣たい人
一、悲觀して厭世的になる人
一、精神鬱々とする人
一、時々氣を失ふ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、陰萎遺精など生殖器神經衰弱に惱んで居る人

定價　一壜　金壹圓五拾錢　内地以外は運賃を加ふ

京城日報
第三版
二日朝刊（朝夕刊併せて八頁）
本紙定價 △一部二錢五厘 △一ヶ月金五十錢 △郵税一ヶ月[illegible] △三ヶ月分金一圓[illegible] △六ヶ月分[illegible]
廣告料 △普通活字[illegible] △特別[illegible]
發行兼編輯人 小川三之[illegible]
印刷人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話編輯用長三番 營業用長[illegible]番 振替貯金口座京城三〇番

▲羅南、城津二新面設の道令を發し[illegible]咸北道の[illegible]羅南面は本町、生駒町、初瀨町、美吉町、[illegible]として城津は既に鏡城郡の一部安[illegible]、慶興、[illegible]なりと▲國境機動演習 十月中旬[illegible]より國境方面に於て擧行さるゝ北城[illegible]以下二十餘名は二十七日[illegible]にて淸津上陸羅南に赴けり▲淸津神社大祭 十月十三日[illegible]の淸津神社大祭は[illegible]より擧行せらるべし

京城日報
面制度の實施

面制は其の施行規則と共に總督府令を以て公布されたる[illegible]の定むる處に依り十月一日に至りて實施を見たり。本令は元來多年の懸案に係り、當局に於ては併合當時既に制定の必要を認め、爾來之が調査の歩を進むると共に、專ら施行上の準備に努め來りしが、機運漸く熟し要意完く成りて、遂に今日あるに至れるものなるは世人の熟知する所の如し。而かして此の施行期が恰も始政記念日に相當し、殊に其の第七周年に於て、國家行政の單位たる地方制度の確立を見るの運びに到りしは蓋に淺からぬ緣由にして行政上の瑞兆と謂ふ可く、總督政治の効果之れより愈々顯著なるものある可し。

面制の制定に關しては、公布の當日本紙に掲載せる宇佐美內務部長官の談に其詳細を盡せるを以て玆に贅言を費さゞるも、之が制定の精神は畢竟地方に於ける諸般の事務を整理して之を面に統一せしめ、爾今益々地方公益の增進に資すると共に地方民が負擔の過重ならざらんことを期するに在り。惟ふに朝鮮の現狀に於ては地方改發に要する施設尚ほ甚だ多しと雖も、素事に次第あり、物に順序あり、若し緩急宜しきを失し遲速度を得ざらむには其の窮極する處或は意外の結果を來すの虞なきを保せず、當局に於ては此の點に對して特に深甚の考慮を重ね先づ面制施行規則をもつて面の處理す可き事業を制限して以つて其の濫施を防ぎ、又た面の能力を考覈して以て起債權を限定する等、法令に於いて既に其の趣旨を明示せるのみならず、制令施行の當初に在りては專ら現在諸種の方法に依り地方に於て實行しつゝある事業の整統一を期するを念とせるが故に施行後と雖も從來に比し外形に於いては甚だ相違を見出す可しとは思惟する能はざるも、內容の整革は日を追うて著しきものある可く事業の緩急要否と地方民の經濟的能力との調節宜しきを得て確實なる發達を來す可きは勿論、將來必ずや面の發展に伴ひ漸次其の事業の擴張を見るに至る可きを以て吾人はそが地方の公益に寄與する少なからざるべきを信じて疑はざるなり。

國力發展の要素（五）
文學博士　幣原坦氏講演

自分が今日迄臨に頗る遺憾に思ふて居る事は、東洋の學問は一般に記憶の範圍を脫し得ないと云ふ點であつた。例へば學校に在りては此の曾教へた事を覺えて居るかと云ふのが、學校に於ける敎師の質問であつて、記憶が敎育上の唯一の方法であるかの樣に考へられて居る。併し今日の時代は記憶の時代では無い。記憶に重きを置くは過去に於ける敎育の遺物であつて、今日は進んで活用す可き時代である。智識は記憶でけ駄目だ。宜しく活用を主とす可きものであると云ふ風に變化し來つたのであるが、之け此度の戰爭に依つて更に切實に悟るに至つた。

吾々は夙に此の考の下に戰爭前よりして各地を步いて主張し來つたのであるが我邦の敎育界に此の思想の生じ來れるは最も慶す可き次第であると思ふ。而して此の傾向は歐米諸國に在りては餘程前から表はれて居つたのであるが、私は先年歐羅巴諸國を漫遊して具さに細察研究を遂げた事がある。中には大に感服せし點もあり感服せぬ點も澤山あつたが敎育方面に於ては記憶よりも活用に努力を及ぼして居る點は偉いと思つた。一つの例を話すると、日本の小學校でも學校園を作つて居る。日本人は大體園藝には長所を有つて居るから却々巧く出來て居るけれども之を利用すると云ふ事に至つては完全では無い樣に思はれる。私は曾て或る小學校の博物敎授の有樣を見た事がある、校長が案內して呉れたが博物敎室には生徒が一人も居ない。時間が間違つて居るのかと思つたが左樣でも無い。そこで校長は學校園に案內して呉れた所其所に生徒が居る。敎師は生徒各自に一本宛草を持たせ、之は何か知つてるか。根です莖です。葉ですと云ふ風に生徒の答へを聽く。敎師は、徐ろに其の草に就て詳しく說明を試みた。小さな生徒であつたが能く了解した樣子であつた。そして敎師は生徒に向つて其の草を敎室に持つて歸らさいと言ふた。私は何う云ふ意味か解らなかつたが其の次が圖畫の時間であつた。生徒が机上に置いた草を寫生しなさいと敎師は言ふのである。實に巧みに連絡が取れて居るのに、私は感服した。普通であると當然前の時間と連絡を取れる事も其の儘捨てゝ了ひはせぬか。前時間に學ばさしたものを寫生させると云ふ事は智識を正確にする上に於て頗る良法であらうと思ふ。又地理の時間も見たが、敎師は大體說明を試みた上、[illegible]へた所を好適にして見せた。或る場合には幾ら說明しても了解せしめ難いものがあるが、斯の如き方法を執るならば充分理解せしめる事が出來るであらう。是等の敎授法は今猶ほ私の心に深い印象を與へて居る。要するに記憶を主とする敎授法は過去の敎授法であつて活用の時代に早く移らずんば敎育の眞價は收め難いと悟つて來たと云ふ結論丈けを申述べたいので此の例を附加へたのである。

山間僻遠の地に敎鞭を執つて居られる人は朝から晩まで重荷を負はされて修養の時間もあるまいと思ふ。私は深く同情を表する次第であるが、斯かる境遇に居られる人は一日修養を缺けば一月後に落ちる事を覺悟せねばならぬ。絶えざる努力無ければ絶えざる沈淪は豫期しなければならぬ。私は之は內地に於て實際に目擊せし點より見て申すのであるが、斯かる境遇に在る人々は大いに一段努力する要があらうと思ふ。

次に體力に就いて申せば、今回の戰亂の結果に依つても士氣の旺盛は體力に俟たねばならぬ事が明かになつた。そこで近頃泰西で力を用ひて居るのは彼の少年義勇團である。私は英國少年義勇團に關する書物を見た事があるが英國の少年義勇團に於いて最初少年の誓ふ言葉は『吾が名譽に於て』と云ふ事である。吾が名譽に於て人を助ける。吾が名譽に於て法に遵ふと言ふ樣な譯で頗る東洋風である。

兎に角今日世界の傾向は、文明は段々進めて行くが身體丈は昔に還らせる事を考へて居る。卽ち人の頭腦丈は文明にするが體力は昔に戻らせやうとして居る。一は文明に一は野蠻に返ると云ふのが二十世紀の大なる悟りである。

體力の點に於ては吾々は內地に於て大に心配して居る。朝鮮にはさう云ふ現象はあるまいけれども、今日內地の青年を取扱ふ上に非常に困まる事が二つある。其の一つは青年病であつて最も顯著なるは神經衰弱である。之は偉い勢で青年を襲ふのである。米國[illegible]氏は青年病に就ての詳細なる研究を發表して居る所を見れば、之は獨り我邦青年男女に限るものではないが、更に恐る可きは肺結核の流行である。私は前途有爲の青年男女が肺病に罹つて斃れるのを見て長大息せざるを得ない。林間學校の如きものは外國では必要あるか知らぬが、我邦では殆んど總てが林間學校と言ふて可い位に思つて居たが斯く流行する所を見ると日本でも林間學校が澤山出來ねば成らぬ。是に於て乎今迄は小庭でも作つて金魚でも浮かして居たのが一變して運動の奬勵となり、世人は體力と云ふものに大いに注意する樣になつて來た。聞く所に依れば明治神宮の外苑に大運動場が設けらるると云ふ事であるか之は國民の非常に新らしい悟りである。事を爲するにも體力の旺盛が不可缺の條件であると云ふが一般に考へられて來たと云ふ事を私は茲に申述べて置くのである。

大森林縱斷（九）
咸北　鏡城　山崎貞雄

△年百年中　明川邑の牛の尻を叩[illegible]されて居る雪耐に着いたのは午前八時であつた明川邑から此處迄二里餘である雲動[illegible]は今を去る九十年前初めて開設されたもので可なり賑かな市場である昨年中に於ける畜牛の取引は二萬九千餘麻布類は一萬五六千圓其の他の貨物の取引も相應に行はれて居る開市日は每居四日の日である今日は開市日に當つて居るも生憎

△朝來の糠雨と少しく朝早や過ぎた爲か未だ店が出て居ない眞瓜を滿載した牛車は其の數幾十臺なるか知らない一體此の邊の人は飯を食はないで眞瓜ばかり

頭つて居るのかと思はれた手押と松村君とは已に大きな奴を平げて更に二つ目にかゝつて居る。衛生も好きな方から云ふと決して人後に落ちる顯の者であるがまさか馬上にはぱくつけないので心發して通り過ぎた此處から小半里も行くと所謂牛が殼を放つて云つたと云ふ山にかゝる卽ち赤思嶺である、山の中腹に殼によく似た岩がある是れは牛の捨てた殼が凝つて岩と成つたのであると云ふ說の山を越えて少しく行くと

日報詩壇

○初秋夜坐　兒島九皐
斜月斜明河漢細。流[illegible]白露淸。獨坐三更風颯到。芭蕉葉動[illegible]秋聲。
評曰　卽是行吟

○同　竹田香雨
[illegible]
評曰　前者直深

○同上　田淵泰州
[illegible]
評曰　花香或新

○同上　內田大順
[illegible]
評曰　一氣呵成

誰（32）
布施生譯

讃部は分別臭い樣子をして熟と大人の苦情を聞いて居ましたが、又合せてゐた手を解いて大人の側へ摺寄せ『そこじやて奧樣、賴太郎の品行がさう直らなくては全く末が案じられる、貴女も實際お困りやらう。宜しい賴太郎の後見は改めて私が引受けましやう。』『見は引受けるがそれに就て一つ條件が有りますがや。それは外でも無い、瑞嬢を女房に貰ふと云ふ事ぢや。』飽り途方もない話に大人は呆返つて『何を仰有つて。』『何もむづかしい事は無い、瑞樣を女房にしたいと云ふのぢや。』『飛んでも無い事を仰有いまし。そんな事が出來ますものですか。』『出來ないたつて奧樣、否が應でも是非〳〵そうして貰はねばなりませんわい。』『利介樣、貴君は一體私を如何しやうと思召して彼在るのでございます、成程私は惡い事を致しました、しかしもう充分罰を受けました、貴君は何處まで私を過去の罪で苦しませやうとなさるのでございます。成程私は意久地なしでございます。しかし此樣に以外の人にまで迷惑になるやうな事は決してお聽き申すわけには參りません。』『ほう、太分お堅い事を仰有るな、奧樣、何もそんなにむつかしく考へる事は無い、私の女房になれば瑞樣も侯爵家の夫人と云ふ事になるのですぞ。』『いゝえ、あの子は貴君もう外に思つて居る人があるのでございます。』『はゝゝ。』讃部は冷笑つて『なあに、そんな事は小兒の飯事も同然ですわい、貴女が一言うんと吃れば直に消えてしまふ。』『だつて貴女、何もそう消して仕舞ふ事はございませんもの。』『はい奧樣』利介はむつくりと胸を起して『まあお前に時間な費す議論は今諦ましやうぞ、貴女はいつも初は彼是と抗辯をなさるが仕舞には屹度私の言ふ通りに肯けてお仕舞ひなさる。今度の事も結局さうなる外は無い。』大人は[illegible]然として『いゝえ、今度ばかりはさう云ふ譯には參りません。』[illegible]

[illegible]らの當分扶持に手がつきましや。うするこそお事だ、どうです奧樣、そうしてしやうか』[illegible]くのも同い事ではありますまい、利介は言ひ續けて『だから私が瑞樣を女房にする、ね、瑞樣に其金を[illegible]私は自分の事に使はうと云ふのぢや無い、賴太郎の方へ廻さうと云ふのです。』瑞嬢に人は睨[illegible]も吐かけたさうな氣色で、『いゝえ、[illegible]ません、それより此儘自分が破滅して仕舞ふ方が寧ろ結構でございます。』

雜誌抄

◆家庭藥品（救急藥）
▼硼酸　洗滌用、含嗽、眼の洗ひ、一ポンド五十錢（藥局の相場以下同じ）
▼重曹　胃病、胸やけ、[illegible]
▼明礬　血止め、水泡しみ、[illegible]一ポンド四十錢
▼アルコール　腫れた所へ塗り、打撲傷にもよし一ポンド局法三十五錢位
▼グリスリン　便秘浣腸用、手足の荒れ止め、化粧用一ポンド三十五錢
▼樟腦　蟲除け、藥品一[illegible]
▼揮發油　洗濯用、一ポンド二十錢
▼ヒマシ油　下剤用、酒の酔ひで服用せば[illegible]一ポンド七十錢
▼砂糖　嘔吐、むかつきを治し、血止めにもなる[illegible]
▼清涼藥　仁丹又は寶丹の類

總長大隈侯爵指導統裁の五大講義錄
早稻田大學
校外生募集＝新學年開始
政治經濟科講義
法律科講義
文學科講義
中學科講義
商業講義
本講義は春季新學期開始何時にても入學許可
第壹號十月初旬發行＝各種大特典提供
申込次第見本つき規則書直に送呈
東京牛込早稻田　早稻田大學出版部　電話番町四二四三

最新刊
露西亞に遊びて　大庭柯公　一、三〇
歐洲大戰物語　森　進　二、五〇
武藏野の文學　野村八郎　一、五〇
歐米新修身科新敎授法　林博太郎　二、二〇
價値ある生涯　洋　林金五郎　二、〇〇
東海道中膝栗毛輪講　三田村鳶魚　五九
石上錄之助著　最も簡便なる理想の珠算　定價七十五錢
山陽道・明治東海道行脚　一、八〇
心を護るまで　上柳彦譯　一、五〇
禪心生活　村田何休　七〇
改訂統獵全書　武田十一郎　一、二〇
英語會話自修自在　五五
和歌の手ほどき　三浦　一、五〇
法華經の眞理　江部鴨村　一、八〇
少女逸話　松美佐雄　八〇
山縣五十雄・村上市吉共著　富の道しるべ　定價十五錢　郵税二錢
大阪屋號書店

懇切無比の最新書翰講義錄
東京麹町　大日本書翰學會

手紙上手に成るには
博士大町桂月先生外一流大家廿餘名の講義は親切叮嚀分り易く何人も手紙文作法と應用秘訣を習得し必ず手紙上手と成る　一ヶ月卒業　添削無料叮嚀　六大特典提供　入會の最好機　規則書見本申込次第無料進呈

結婚改良意見
民族衛生より觀た結婚改良…永井醫學博士
無打算の結婚生活を排す…北早大敎授
公立媒介所を設けよ…山田わか
戀愛の選擇を自由にせよ…本間久雄
極めて簡單なる披露にて可…[illegible]

福引景品附
冬物大賣出し
△△お買求の好時季△△
福引券は三圓毎に呈上
一等　本丸帯　一本
二等　御召　一反
三等　[illegible]　五枚
四等　本秩父銘仙　五反
京城本町　まるす屋呉服店

農業世界
十一月號　定價一冊二十錢　博文館
徵兵に現はれた農村と都會の壯丁（中村步兵大佐）
農村經濟の將來（高橋男爵）
麥作に對する灌漑（村上技師）▲麥蒔きと苗蒔き（武田農學士）▲みづごけの利用（岡村博士）
資本の五倍を得る椎茸の作方（新川農學士）
地方青年團の起源と其使命（波邊地方局長）
臺灣のバナナ…（英斯盛）▲米國果樹飼養…
增刊號　藥用植物種の八栽培法と効用（農學博士）

移轉廣告
弊店今般左記の處に移轉と共に松浦質店の質權全部を繼承一層業務は懇切に精々勉强致候間御眷顧願上候
追而弊店は完全なる倉庫有之候に付保管上至極安全に御座候右併せて廣告候也
京城櫻井町二丁目百六十一番地（本町四丁目櫻井學校道に入る）
質商　杉本音治郎　電話三一〇三番

婦人公論　秋季特別號　家庭悲劇號
悪血の家に嫁いで…松崎天民
愛の目覺めと家庭悲劇…吉田絃二郎
婦人問題と悲劇の救濟…奧野重三
家庭悲劇の原因は今日の女學校敎育に在り…早稻田
大婦者と獨身者の對話…生方敏郎
秘密なき家庭に悲劇なし…安部磯雄
淺草情話　梅園心中…村松梢風
家庭悲劇論…三宅博士
醫學上より觀た家庭悲劇…松江學士
姑の心理…高島平三郎
近代劇と家庭悲劇…本間久雄
お母さん！申譯ムいません…久保田萬太郎
懸賞當選　我家の悲劇　十一篇
創作（家庭悲劇を取扱つた四篇）
山桔梗…田山花袋
暗い點…小野美智子
臺所の三十分…坪內士行
新壺阪寺…上司小劍
長編連載小說　おなじみの
秘めたる戀…德田秋聲
女人神聖…谷崎潤一郎
春宵記…小山內薰
定價三十五錢　郵税二錢
東京市本郷區西片町十　振替東京三一四番　中央公論社

人夫募集
人夫千五百坑夫四百募集す當方其他所轄鑛山以外の者にして希望のものは十月末日までに本人自ら來談すべし
相當日數勤續したる者は旅費を支給し十五人以上を引率し來るものは人夫長として特別待遇すべし
三菱兼二浦製鐵所

◎獨外相對法王回答

獨逸外相は羅馬法王の平和提議に對する回答として獨逸は若し白耳義殊にアントワープに於て自由に經濟的事業を發展せしめ得る權利を保有し得るに於ては喜んで白耳義より撤兵すべしと(紐育電報)

◎露國入都布令

露都衛戍總督は地方官憲の許可なくして露都に入る者は三千留の科料金を課し若くは三ヶ月の禁錮に處すべしとの布令を發せり是れ食糧不足に基因せるものなり(露都電報)

◎參議院組織公布

九月二十九日大總統令を以て一箇月以內に臨時參議院を組織し國會を召集すべしとの公布ありたり(北京特電)

◎孫逸仙呉景濂嚴罰

孫逸仙氏呉景濂氏を內亂犯罪者として嚴罰に處すべしと發令ありたり(北京特電)

◎青島民政部職員任命

青島民政部職員一日左の如く任命發表ありたり(東京特電)

朝鮮總督府參事官 秋山雅之介
任民政長官(勅任)
廣島縣內務部長 夏秋十郎
任事務官(勅任)
陸軍省囑託 阪口新圃
任鐵道部長(勅任)
遞信省事務官 古賀倍吉
任遞信部長
朝鮮總督府事務官 中野有光
任事務官青島民政署長ヲ命ス
東京府理事官 前田愼吉
任李村民政署長
德島縣理事官 林恒四郎
任坊子民政署長
濟南駐在領事 林久治郎
任濟南民政署長

◎奉天だより

▲滿洲皮革近況 滿洲皮革會社は稀有の好況裡に原料を緖切り目下事業準備に就き種々協議中なるが工場は無論奉天に設置さるべきも用水の關係上運河附近を選定するやも知れず愈々事業開始の上は朝鮮牛及び北京牛を以てボックス及びキットを製出すべく是が爲め米國より技術者を招聘する筈

▲支那關稅調査 我が奉天總領事館に於ては目下商業會議所をして支那關稅率に關し調査せしめつゝあるが其の內容は現行支那關稅率にして滿洲に於ける我輸入品の販路擴張並に滿蒙生產品の輸出上著しく障碍となり改正を要すべきものゝ有無なりと

▲觀兵式と宴會 來る十二日より擧行さるゝ在滿師團演習終了後奉天に於て大觀兵式を擧行し式後更に大宴會を開催する筈なるが該宴會は十四日(師團長宴會)十五日(關東都督宴會)の兩日に亙り催さるべく兩日共在奉日支官民三百五十名を招待する筈にて張督軍も亦參列すべし

▲古谷代議士 代議士古谷久綱氏は去る二十七日夜撫順より來奉瀋陽館に滯在し日支要路を歷訪して最も精細なる視察を遂げつゝあるが氏は奉天視察後公主嶺、長春に赴き同地より吉林に往復し直に南下鞍山站製鐵所を視察しそれより大連、旅順を訪ひ營口に引返し同地より天津に出て北京を視察したる後蘇州、杭州等を經て揚子江沿岸より上海に下り更に濟南に轉じ青島を經て歸國の豫定なりと(廿九日發)

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○支那人の生活の理想は、食、色、賭の三者にありと云ふ者あり。彼等が稼ぐも、貯蓄するも、其の根本は、是が爲めと云ふ者あり。あるひは然らん、一種の觀察法と云ふ可し。

○佛蘭西人は、中年迄は、精々其の業務に勵み。其の儲けたる金をもて、公債とか、其他の有價證券とかを購ひ、中年以後は樂隱居にて、世を暮らす者多しと云ふ者あり。

○英人は死に抵る迄、其の業務より退隱するを屑とせず。其代りに生活も、隨分賑やかに、面白く。云はば一生の間、大いに働き、大いに遊び、大いに得、大いに費すと云ふを以て、理想と做すと云ふ者あり。

○生活を苦役と思ふは尤も非也。生活を苦もなく、樂もなく、當然の事と思ふも亦た非也。吾人は生活を樂しまざる可らず。如何に樂まんとするも、人生の一半は是れ悲哀にあらざれば、苦痛のみ。病あり、老あり、死あり。而して三者よりも、更らに痛楚なる煩悶あり。是れ何人にも、精神的壓迫の已む可らざる所以也。

○人生の苦杯を滿喫して、徒らに愉快と否語するが如きは、自から欺くものゝみ。されど滿喫の後に、尙ほ暗黑の天際に一點の明星を見出す如く、胸底に[illegible]一種の快感を見出すものは何ぞや。是則ち精神的愉快のみ。生の愉快中、未だ此の如く[illegible]のあらず。

◎ドシ〳〵殖ゐる 郵便貯金

▽十月中には四億を突破か

▲物價騰貴の爲め生活困難と云ふ現象をば或意味で裏切つて居るのは郵便貯金の增加愈々出で、愈々激しいことである近年郵便貯金の目立ちて增加したるは大正四年六月頃で從來月に五十萬圓ほどの增加であつたものが同六月には三百萬圓を增し翌七月には三百七十萬圓の增加で當時にては新記錄であつたのである爾來每月增加額三百萬圓程度を昇降し越えて大正五年に入ては其勢ひ益々强烈にして七八萬圓見當となり大正六年に入つては殊に同六月には一躍一千四十六萬圓の激增を示し世間を驚かした是迄大正五年九月の一千四十八萬圓が新記錄となつて居たが大正六年六月は夫を拔くこと實に二百九十八萬圓であつたのである而して更に翌七月は千四百三十四萬圓翌八月には稍や減じて千二百五十萬圓と云ふ勢ひであつたが今回九月二十一日

▲現在の預金總額は三億八千九百三十七萬二千二百六十二圓で之を去る八月末日の三億七千八百三十九萬圓餘に比し千九十七萬圓餘の增加を示し卽ち依然として千三四百萬圓の增加率を保つて居るものと見て差支ない假りに今後二三箇月の間も此割合を以て增加して行くものとせば十月中には既に四億圓を突破し本年末には優に四億二三千萬圓となることであらう次に之を

▲預入の數に見るに本年九月二十一日現在で千六百三十二萬六千六百六十五人で昨年九月末に比するに預金が二億八千百六十萬二百六十九圓預人千四百五十萬千六百十三人で金額に於て一億九百廿一萬千九百九十三圓預人に於て百八十二萬五千五十二人の增加を示して居る更に之を一人の平均預金額に見るに

大正元年	六圓
大正二年	十圓五錢
大正三年	十一圓四十八錢
大正四年	十五圓六十八錢
大正五年	十七圓二十九錢
大正六年(三月末)	二十一圓三十八錢

大正二年に於て一人當り約四圓五十錢といふ飛躍を示して居るところ却々凄いと言はねばならぬ斯く觀じ來ると日本も此方面には餘程發[illegible]いやうであるが併し

▲外國に比較すると未だ〳〵御話しにならぬと言つて宜い卽ち人口百に就き預入人の率と人口一人當りの預金額を見ると左の通りである

國	人口百人に付預入人	人口一人に付預金
白耳義	三十九人	四十八圓
英國	三十人	二十九圓
和蘭	二十六人	二十三圓
日本	二十四人	四圓
伊國	十七人	二十一圓
佛國	十六人	十六圓
瑞國	二人	三圓
米國	〇.五六人	一圓

日本は人口と預入人の割合には第四位であるが人口一人當りの預金額では第六位となる譯であると當局者は語つた

◎鑛業會成立と斯界の將來

會の善用と會員の一致とを切望す 小原農商工部長官談

▲久しき問題 たりし朝鮮鑛業會も時局の影響と時勢の進轉とに依りて非常の刺戟を受け今回は殆ど懸河の勢を以て成立し九月三十日を卜して假發會式を擧行するに至れり、朝鮮の鑛業界が多事多端なるは當日の式場に於ける村田委員長の言に盡き、また斯界の好望なるは世人の夙に熟知する處なれば予は玆に贅辯を弄せざるも、斯界の進展發達に遺憾なきを期せんには、是非とも此の種の機關ありて官民互に

▲意志を疏通せしめ上下共に氣脈を通じて以て事に當り從はざる可からず。殊に同會は內外或は世界に於ける有ゆる鑛[illegible]を備へ、或は學術部を置き[illegible]設くる等、其研究調査[illegible]萬全を期するのみ[illegible]の道德を向上せし[illegible]其の目的の一と[illegible]知す斯くの如きは[illegible]の事業といふ所[illegible]上の智識を增進して絕えず

▲斯界の趨勢 に遲れざらしむるもの、延いて各自の經營力に寄與する處必ずや鮮少ならざるものあるべく、後者に於ても又會員相互の間に相當の制裁あらば今尙ほ往々にして現はるゝが如き不良分子は自然に排除せらるゝ譯なれば、是亦目的を達することを得て難事にあらざる可し、されど玆に注意す可きは何かく有益なる本會も之が利用を誤らば却つて種々の弊害を釀成するに至る可く又た會員の一致を缺くが如きことあらば却りて斯界の紛亂混亂を招くの虞なしとせず、會の目的如何に善なりとするも玆に集るものにして誠意を缺ぎ之を行ふものにして節なからむには遂には所謂無いには泣かねど有るに泣かさるゝの愚を見るやも計り難かる可し、斯樣な言語は成立匆々の本會に對して

▲甚だ不謹愼 の嫌なきにあらねど、予は其成立を歡迎するの餘り敢て一片の婆心を披瀝する次第なり、希くは官民諸君に在ては深く意を此處に留め、官民の別なく上下の隔てなく協力一致誠心誠意を以て本會に臨み嚴に之を善用せられんことを。是れ卽ち同會の大を致す最上の手段にして延いて斯界の完全なる進展發達を促進せしむる所以なり

◎九月資金集散

九月中に於ける朝鮮銀行本店の撒收に任納鮮銀券等の調査を聞くに收納は市街地稅酒稅雜稅を項目とする關稅及び準國稅收入五十五萬六千九百六十四圓朝鮮紡織朝鮮物產外二社の株金拂込百六十萬圓東洋拓殖債券の拂込一千萬圓合計一千二百十五萬六千九百六十四圓にして又撒出は朝鮮酒造對山水產の利益配當三千圓勸業債券の利子仕拂二千二百八十三圓合計五千二百八十三圓にて收納の一月以降累計は二千百二十六萬五千四百圓撒出の一月以降累計は四百三十一萬二千八十圓なり

◎慶北明年棉作

慶北道內に於ては陸地棉栽培の漸次斯業の發展を見つゝあるは收穫物の多くは品質の良好其の他有利なる事を知得したるが爲めなると共に又道當局者の指導獎勵と相俟つて大正七年度に於ける同種豫想播種反別は一萬六千四百町步にして昨年に比し七千二百六十町步餘の著しき增加を示す其の中最も著しき增加を見るは義城郡の四千九百町步安東郡の一千七百町步等にして醴泉郡尙州郡慶山郡の各一千四百町步之に次ぎ金泉郡達城郡漆谷郡尙州郡慶山郡の順序なり

◎東拓移民締切

東拓會社に於ては內地及び朝鮮に於て募集中なりし第八回移民の申込受理は九月三十日を以て締切りたるが一種二種共の申込數は未だ明かならざるも一千五百戶より二千戶の見込なり尙ほ本年度の移民規則改正の結果一種の應募數の從來の記錄を破りしは土地所有權讓渡を早からしめし一大理由なるもの如し尙ほ今後は一定の期限に限り速に其の應募者を詮衡し採否の通知を發すべしと

◎東拓滿洲開店

東洋拓殖會社の大連並に奉天の兩支店は既報の如く十月一日より何れも開店したるが奉天支店長は同社參事吉野小一郎氏大連支店長は安東義喬氏なり

◎生糸移出額

京城製絲場にては從來生產品を三井物產の手を經て橫濱に移出しつゝあるが本月十日發送の五百斤を合せ四月以降同所の移出したる額は[illegible]一千四百七十圓を以て取引せられ最近發送の五百斤は信州の上一番以上の價格を以て[illegible]

◎ナイト提督退京

米國東洋艦隊司令官ナイト提督一行は一日夜長崎に向け出發せり

◎三本課長本社詰說

滿鐵京城管理局營業課長三本武重氏は多分近々大連本社に新設せらる可き鐵道統一後の調査に關する機關の事務に當ることゝなる可しとの說あり

◎露都行旅客禁止

東淸鐵道長官は這回特別の許可證なき露都ペトログラードに入るを許さゞる旨同沿線に告示せり(長春)

◎青山島の發展

全南青山島は鯖漁場として近時の發展頗る目覺ましきものあり同地有志間には將來發展上港內海面の埋立を希望する向き多く郡經由又は直接總督府等に右の計畫を請願し來る由にて不日當局に於ても之等の實際を踏査する爲め係官を出張せしむる筈なるが埋立地の目的は商家建築網干場漁獲物處理場其他の用に供するにありと

◎京畿畜產組合

最近調査に係る京畿道管內畜產組合狀況を聞くに組合員數九萬四千六百三十六人組合員所有牛六萬二千九百六十八頭組合員管理牛四萬零三百九十九頭計十萬零三千三百六十七頭尙此外產牝價格二萬三千八百一圓を示せりと

◎石川幹明氏入京

時事新報主幹石川幹明氏は一日夜入京朝鮮ホテルに投宿せり

人事消息

▲北澤種吉氏(文學博士)一日夕元山へ
▲小川節氏(時事新報記者)一日夜入京朝鮮ホテルへ
▲新田留樓氏(釜山辯護士)一日釜山へ
▲片山昻氏(釜山辯護士)同上元山より入京 巴城館
▲米國赤十字團(九名)一日夜長崎へ

◎百聞百種

此程文科大學の教育者の會合に露國革命當時の皇帝のエリセイフ氏が出席して露國皇室の秘史を話したが其內に日露戰爭の敗因を露帝が國よりも富を愛したからだ▲と云つたが此れは波羅的艦隊が東航する時艦隊の行動が日本に漏れる事を惧ぐ爲倫敦から上海迄の海底電線を切斷しなければならぬ▲と海軍當局から露帝に上奏したが露帝は同會社の大株主である關係上他の方法を講せよと許されず▲故こそ壞滅的敗北を招いたのだと▲藤澤喜三郎博士曰く『凡そ統計程信にならないものはない、戰爭が始まツて間もない頃、獨逸の財力は今後六箇月より持續しないと得々として述べた獨逸通があツたが其後三年も經て獨逸は尙ほ戰鬪を續け今後も繼けんとしてゐる▲これは總て統計を信じ過ぎたからの誤斷で、統計と云ふ奴はそれを調べた時の儘に、社會狀態のある時にこそ役に立つが、其間に社會は容赦なく變化する▲況んや今回の戰亂の如く社會組織の根柢から覆へされた時に方ツては統計は翁の役にも立つもので無い』と

◎滿洲甜菜好適

本年の甜菜栽培は已に多大の天災を蒙り[illegible]遺憾なかる可し本年の栽培法は一般に支那農民の習式に據れる者多く爲めに中には耕作中從令は病害旱魃に非ざるを以て來年度は假令旱魃に遭遇するも相當の準備を爲すを得べし[illegible]

◎爆藥で大火傷

當日南入は石を割らんとして石の傷を負ひ吉藏は爆發のため崩壞した土砂のために半身埋沒され[illegible]

◎亂暴者

[illegible]

▲廣告

時下秋冷の候各位益々御精穆之段奉賀候陳者京城日報大正六年九月廿九日附の夕刊第二面欄に拙者が兼て販賣致し居る勸業債券月賦販賣に對し空券發賣記事記載有之候處同記事の如き實例更に無之何時を不問諸彥に對する賣渡し債券は御披見に供し可申只平壤支店主任が一部の不明確の證券を販賣致したるも之とて未だ確定せし事實には無之尤も右事件に就ては追て發表可致小生に於ては却つて被害の立場にこそあれ記事の如き實例は毫も絕對無之候右は全く弊社の發展を姑む奸商の仲傷ならんと被存候に付き此段及廣告候也

京城長谷川町五八 勸業債券月賦販賣所 市後崎龜治

陸地測量部發行五万分一 朝鮮地圖
既刊五百六十枚一枚七錢五厘臨時土地調查局測量の分二色刷既刊二百三十六枚一枚十錢送料五枚迄二錢一切前金の事照會必ず返信料を要す
龍山漢江通六番地 小林又七朝鮮出張店 電話五二〇振替五一〇

朝鮮及滿洲 秋季號(四號) 一部二十五錢半年一圓五十錢
◎朝鮮と滿洲の比較研究
◎朝鮮と滿洲……釋尾旭邦
◎帝國拓殖統一と朝鮮……工學博士 大屋權平
◎殖民地の行政統一……大連 唯祕伊與
◎行政機關統一所感……大連 相生由太郎
◎戰後の英經濟界……法學士 高橋秀臣
◎朝鮮の將來……文學博士 三浦周行
◎朝鮮最近政變史……李王職次官 國分象太郎
▲數字上より見たる南滿洲と朝鮮
▲朝鮮と滿洲の比較雜感……入澤重麿
▲健康上より觀たる朝鮮と滿洲
▲朝鮮上より觀たる朝鮮人と支那人……久保、武
▲經濟上より觀たる日支提攜……小原新三
▲朝鮮及滿洲の企業と東拓……松本直平
▲朝鮮と滿洲の得失……土井芳穗
▲朝鮮工業の將來と滿洲……望永義男
▲工業は滿洲の方が先決……仲野應二
▲先づ研究を要する滿洲通貨……中村光吉
▲滿鮮貨物取扱統一……村瀨鐵治郎
▲在滿邦人の見たる滿洲と朝鮮……鹽崎齊藏
▲在滿洲本邦人の衛生狀態……江口忠六
●女性の革新……寄 女學校長
●外遊雜感……岩田仙宗
●蒙古探險……古川狄風
●學寮の生活……一記者
●醫者めぐり……一記者
●朝鮮及滿洲の事業……●鑛業界月報……●朝鮮及滿蒙問答……
●風聞駄語……
●東京どん底通信……
●中村都督と國澤滿鐵理事長……ヒマラヤ山人
●外交記者の見た人物……崑崙山人
●裏口から見た奧樣連……山羊生
●小さき人のさびしき人々……阿木良
京城旭町 朝鮮雜誌社 電話二二五 振替一二三

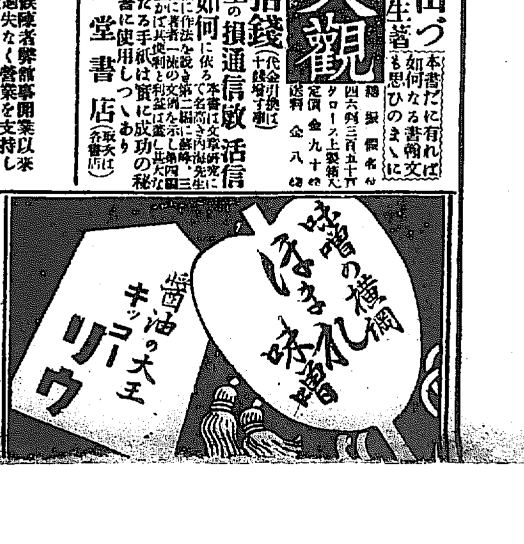
御禮廣告
拜啓秋冷之折柄御起居益々御健勝奉大賀候陳者弊館事開業以來始終格別の御眷顧を蒙り御蔭樣にて何等過失なく營業を支持し來り候段深く感銘候然る處方今時運の隆昌に伴ひ弊館に於ても聊か發展を企て平素の御厚情に酬ひ奉らんと存じ居候處今回鄉里の都合により歸省の儀申越され止むを得ず十月一日を以て當地を引揚げ候に付ては右御挨拶迄略儀ながら紙上を以て玆に謹んで御禮申上候尙後任には富久壽美館を推薦仕候間同樣に御引立の程偏に奉願上候
大正六年九月三十日
安東縣三番通四丁目 喜久旅館主 岡野平九郎
各位

模範的書翰文獨習書出づ
明治大學講師 文學士 內海月杖(本名弘藏)先生著
最新作法文範 書翰文大觀
本書だに有れば如何なる書翰文も思ひのまゝに
總振假名付 四六判三百五十頁クロース上製箱入 定價金九十錢 送料金八錢
大特價送料共金八拾錢(代金引換は十錢增す)
手紙の拙いは活社會に働く人は一生の損 通信敏活 用の增進、皆是れ悉く手紙の巧拙如何に依る
發行所 東京市小石川區指ケ谷町五十二番 高正堂書店 振替東京三五八六五

京日案內
●有給社員募集 年齡不問 愛國生命保險京城出張所 永樂町二ノ七十六 654
●店員入用 但市內に確實なる保證人を要す 京城本町三丁目 近藤金物店(電話一五六一番) 649
○貸家 ○並木町三十五番地 ○官吏向 光熙町 鈴木 650
古本買受申候 本町一丁目(明治町筋)野村書店 電話三〇五〇番 653
小僧入用 十六七歲の者二名市內要保證人 京城南大門通三丁目 電話五八三番 藤木支店 647
◎鑛物各種分拆 太平町二丁目二二六(電二八三三) 總督府醬油店向側入る 松永分拆所 575
◎朝鮮語科 英語科 新學期三ケ月修了 各級補缺募集 南大門通廣城銀行向ひ 京城青年會 621
事務員入用 英語會話を要す 保證人要 本人來談 市內確實なる名外十五六歲の店員入用 京城南大門通三 上田商會 電話五四九

洋釘 洋鐵 鋼 亞鉛 線・鋼 平浪板 鐵板 力板 眞鍮板 地金類 京城黃金町 福田久京城支店

寫眞半額 開業披露の爲
龍山漢江通六番地 平田玉影舖



[illegible]要するに滿洲の[illegible]は甜菜栽培の適地なりと云ふ断定は最近深く自信するを得たり滿洲の地下水は至る處に於て十七八尺[illegible]を見るが如き事あらば大なる影響はなく[illegible]甜菜の合併に大に影響を來すべく懸念せられたるも昨今天候恢復し相當の温度たるを以て其成熟は[illegible]

[illegible]いの一番に位する京城検番きっての賓ッ子、大和家の三[illegible]去る二十六日の晩客久家からの砂せに應じ[illegible]事を遊ばし有樂館[illegible]と寄り集まる始末に流石の流行ッ兒も[illegible]事に飛び來る男もなく泥だらけの[illegible]に押し隠し、ポットの[illegible]でお座敷に[illegible]花が付けて貰ひ大正館に[illegible]は其[illegible]れ[illegible]んでも唯は過さぬ[illegible]あとの[illegible]申すべき

今回[illegible]の大洪水ありたる際は多數の溺死者を出し約半箇年間も減水せざりしより今度も往年の悲慘事を繰返すに非やと人心恟々たり

◆水地獄に化せる天津の日本租界

◉結氷期を何うして過すか

恐怖に襲はれつゝある天津居留民　危險状態に陥りつゝある天津市街

最近天津より歸來したる鳳仔澤太郎氏は同地に於て五十年來甞て見ざりし大洪水に遭ひ其の慘澹たる光景を目撃したるが其談に依れば

◆大洪水◆

天津租界に於ける水害は甚だ共に猛威を逞ふして今や既に白河々岸に沿へる租界と其裏通りに位する二條の街路を除す他の部分は悉く滔々たる濁流の爲めに全く危險に瀕しつゝ有るが今後南運河堤防にして決潰せんか水深

◆忽ちに一丈二三尺

にも達す可く人心恟々として殆んど生色無き有樣なり斯く際に洪水は全市街を呑み居留民中災害を被りたる者多き爲め松平總領事は義勇隊を徴募して水害救護及び市內警備を爲さしむると共に罹災者百數十名は公會堂に收容し避難し能はざる者は臨時水害救護會より飲食物を供給するなど

◆居留民保護の爲

めに全力を竭し居るが更らに奸商が不法の利を貪るを防がん爲め命令を發して平素の市價を超ゆる價格を以て食料品其他の日用品を販賣したる者は五十圓以下の罰金若しくは科料拘留に處し購買者に對しても理由なくして買占をなしたる者も同樣處罰する事となすなど

◆善後策に就いて

は山懸然する處無きを期し居れり領事館は二十四日浸水したるを以て臨時事務所を壽街三井洋行樓上郵便局は社內に移轉し北支那駐屯軍司令部も亦露街參謀官舍內に移轉しの止む無きに至り總領事館の警官隊は救護事務を熱挙しつゝ有るを以て軍隊は直に應援隊を出動せしむる事となりたり通信交通機關は全く不通となり市內は物品供給船を巡廻せしめて食料及び雜品の供給をなさしむ可きかに就き協議中なるが租界局にて他

◆重要建築物前に

はアセチリン燈を點じて夜間通行の便を計り北京天津間の電信は目下不通なるも故障地點の調査不能なる状を以て當分の儘なる可し水量は二十五六日頃に至り最高度に達したるも水勢稍々緩和されたる模樣なれば今後減少を見るに至らんが若し此の分にて二箇月間餘も排水する事を得ず結氷期に入らんか全市は全く氷詰めとなりて

◆重大なる危險状態

に陥る可く居留民は非常に恐怖の念に打れつゝ有り因に五十年前あ

◉帝都水害甚大

慘死者倒壞家屋多大　輪中學校の寄宿舍吹飛ばされたる外家屋全壞十五戶

東京全市の暴風雨被害最も悲慘を極めたるは月島にして新佃島月島一號地の東海岸全部倒壞又は流失し午前中に屍體の發見されたるもの十七、（四字不明）學校長甲高淺次氏（六十）の家族四名枕を並べて慘死せるを初めとし一家悉く即死せるもの數ヶ所あり又京橋區の被害は月島一號地外下挽町二丁目二十三番地中屋印刷所事鈴木正平方の木造四階建、間口二十間、奥行五間の大家屋倒壞せるを初め家屋の倒壞三十一戶電線の切斷せるものの百十四箇所に達せり芝區方面は破損三百十九戶に達し芝公園の樹木及び同區內街路樹の吹倒されたるもの五百餘本に及べり深川區方面は先づ洲崎遊廓は逆浪に堤防の石垣を呑み去らるゝや廓內は瞬く間に浸水し約五尺餘の泥海と化し數十戶の倒壞家屋を出だし娼妓其他を加へ二十一名の慘死者を出だせるが同區各町に概ね床上浸水三尺に達せり（東京特電）

▲各區被害慘澹

向島千住方面は浸水家屋三萬戶餘千住大橋附近の増水八尺に達し倒壞家屋數十戶死傷者多數あり下谷區方面は上野公園の巨木の倒壞せるもの數十本、精養軒の新造三階建家屋は暴風の爲め廂下倒落し、化學工業の博覽會建物も倒壞し王子電車不通となり、慘死者三名あり本郷區方面は家屋の倒壞、板塀、屋根、樹木の吹飛ばされたるもの多く第一高等學校の三日間休校せるを初め各學校概ね臨時休校せり宮城內吹上御苑及び御濠端の樹木被害多く、御苑內御茶屋杯は屋根を吹飛ばされたるも御殿には被害些かもなし芝離宮にては一日午前二時、三丈餘の海嘯襲ひ來り最も風景に富める中島御茶屋の如き床上浸水三尺に及び椅子卓子等は悉く浮流せる有樣にて附近に碇泊せる船舶は共に同御苑內に押流され離するの已むなきに至れり赤阪區方面は街路樹倒壞、所々倒壞し板塀、屋根、電柱、樹木等の被害無數なり淺草區方面は[illegible]谷、今戶附近を初め浸水家屋八千餘戶、倒壞家屋四十餘戶、死傷者數名あり小石川區方面は大塚[illegible]戶倒壞したるを初め外に倒壞家屋二十數戶輕傷者數名あり本所區方面は同區三分の二は濁流に浸され床上浸水六尺以上に及べる所あり[illegible]方面は濱町河岸一帶五六尺の浸水にて箱崎町、蠣殼町の大部分も三尺の濁水橫溢したり京橋區方面は木挽町、築地附近午後三時頃床上七尺に及べる所あり浸水家屋八千戶あり四谷區方面は街路樹の損害多し浸水の爲め日本橋區兜町蠣殼町兩取引所を初め深川、神田川、龜島各正米市場全部一日臨時休場せり、各市場の倉庫は平均三俵の高さ以上まで浸水したり（東京特電）

◉村落水中に陷沒す

大阪府下被害慘澹＝淀川大増水

大阪府下淀川増水の爲め沿岸大塚堤防二十間決潰し北河內郡枚方附近天王川決潰し京阪電鐵は枚方以東不通となり人家九戶流失せり南河內郡石川の堤防崩壞し爲めに三四箇村水中に陷沒せり（大阪特電）

大阪市の中南部にて二千戶浸水せり東海道線不通の個所あり三十日夜東京發の急行列車は未だ著せず電信電話各所に不通の個所多し（大阪特電）

◉控訴して無罪

原籍兵庫縣赤穗郡坂村西本武秀（二[illegible]）香川縣小豆郡安田村石井宗太郎（二[illegible]）の兩名は共に日本郵船會社浦鹽航路船立神丸船員なるが本年三月中積荷軍需品下駄銅價格卅圓の物を窃み釜山にて某鮮人に賣りたる事發覺七月十七日釜山地方法院に於て各懲役四月に處せられしが石井宗太郎は身に覺えなき事なりと主張し兩名共大邱覆審法院に控訴せり然るに石井は月給十九圓を貰ふ身にも拘らず[illegible]さへ受け艦內にても[illegible]に反し西本は之れに反し素行[illegible]十五歲の時農學校に在學中[illegible]切手[illegible]百圓を盜みて銀行より金を引出し[illegible]にて[illegible]の手にも合はぬ[illegible]たり

◉仁川始政記念祭

仁川神社に於ける始政七年記念祭典は一日午前十時より[illegible]の如く仁川神社に於て[illegible]執行され[illegible]の祝詞奏上あり[illegible]神饌の獻納、[illegible]の玉串奉奠、[illegible]に次で各參列員の玉串拜禮[illegible]は[illegible]、午前十一時祭典を終了せり當日は[illegible]仁川府尹を初め其他各官衙[illegible]氏子總代、其他多數參拜あり

◉飛行會員委囑

[illegible]仁川支部委員として[illegible]、[illegible]郎、[illegible]太郎、[illegible]次郎、坂田文吉の五氏に依囑せられたり（仁川）

◉初霜と初氷

昨今の氣溫

仁川觀測所の調査に依れば咸鏡道長津に去る二十日初霜あり例年に[illegible]二十五日平安北道中江鎭は二十七日の初霜にして例年に比し三日早く同處は猶ほ二十九日には初氷張り平年より四日早く而して昨今の氣溫は

		最低	最高
二十九日	仁川	[illegible]	七度二
	京城	五度三	七度六
三十日	仁川	五度六	[illegible]
	京城	五度八	[illegible]

を昨年に比すれば概して二、三度降下せり、昨今朝鮮の秋晴は低氣壓固定せるものゝ如く滿洲方面の氣壓高きに反し二十九日琉球南端に七百四十六耗の低氣壓現はれ北東に進みたる結果內地一體は昨今雨にして多少荒れ模樣に在り

◉投身

[illegible]（[illegible]）は九月十一日[illegible]の事より[illegible]打したるに[illegible]長男（[illegible]）は之れを恐れ家外に[illegible]金は長男を尋ねに行[illegible]外出し[illegible]浦川江の上流南洋江に投身自殺を遂げたり（平壤）

◉嘘者殺し

[illegible]後里李[illegible]は[illegible]二十八日發見した[illegible]は大同[illegible]何者にか慘殺され所持金二百餘圓を强奪されたる[illegible]

◉夫婦斬共犯者

去る九日全北扶安郡扶寧面東中里に居住する鮮人大西蕭左衛門方に二名の賊忍び込み主人夫婦の寢室に闖入し金品捜索の折柄主人に發見され互に格鬪の末清左衛門及び內[illegible]

◉可愛い人形に物を言はせる

◆手品師アボット君◆

西洋人の手品師アボット君は二日の朝南大門を發つて支那に向つた、アボット君の手品は卅日の夜朝鮮鑛業會の創立披露會で喝采を博した通りなか／＼

◆◆面白い 手際であつた、別けて小さい人形とのお話は自分の口を噤むだまゝ鼻から聲を出して人形の言葉に見せる君の十八番藝、一日の夜は京城西洋人倶樂部の主催により

◆◆鐘路の 青年會に喝采を博した、アボット君は濠洲の産れ、手品の勉强は英國から來た君のお親父が直傳だとのこと

日本の手品はどう思ふといへば『何分

◆◆神戸に 著いてからも多忙つゞきで些ッとも觀なかつたのは遺憾に思ふ』との返辭、青年會館で寫眞を撮らうとふと此の著物では……とぼらしいとを云つゝレンズの前では

◆◆兩手を 振り動かして茶目をやる、お得意の人形は今ホテルに置いて來たので困つたなあと噴き出し相な面をする、先生なか／＼の大茶目である。

◉値上流行

洗ひ張物二割　支那料理一割

京城に於ける諸物品の値上げ流行は今更しい事でもないが京城洗張物業者は十月一日から洗張物類を二割方値上する事となった此に就き

◆當業者 は曰く御承知の通り染料は暴騰する生活費は膨脹すると言ふ風でとても遣切れない爲め從來染物類は漸次に値上げして現今では戰前に比して約二三割方騰貴して居るが洗張類は

◆競爭が 激しかつた結果切り詰めてやつと今日まで濟ぎ著けたが諸物價は最近に至つて益々騰貴して殆んど天井知らずの有樣であるから今回

◆同業者 は染物洗張業組合の組織の上組合會協議の結果二割値上げする事となり從來三十五錢位なりし御召の洗張は四十五錢仙臺平袴は七十錢セル袴は四十錢銘仙二十八錢位の標準

◆染物は 銘仙一圓五十錢高貴一圓八十錢御召二圓內外までに値上げする事となつた又綿炭及び石炭類を始めとして鮑海參其他海産物は支那方面に輸出好況の爲め支那料理も又値上げの止む無きに至つて

◆この頃 金家鷄、絞子、鷄卵等は二錢値上げの卅錢となり其他の諸品も總て一割內外上した

うわさ

▲近來補助貨の拂底は朝鮮も內地と同樣に困難を感じて居るが▲殊に多數の人夫を使役する工場、鑛坑等で勞銀の支拂ひには一方ならぬ困難に遭遇して居る▲全羅北道長水郡溪內面の德里の水鉛鑛では千餘名の坑夫を使役して居る▲故に日々現金を支拂ふ事は到底不可能な處から坑夫だけに使用する一錢から一圓迄の各種兌換紙幣を發行し▲十日乃至二十日目に正金と引換へをして居つたが其の日暮しの坑夫の事て待られず▲坑外に持出して其れを現金に引換へるまで待つて[illegible]使用する處から到る處に弊害を醸したので▲此の程全北警務部では鑛主を呼出し該兌換券を外部に於て使用する事を絕對に禁止したとの事

[illegible]火藥爆發し從業中の工夫久保田吉[illegible]及び支那人辛維泰（三[illegible]）の兩人が重傷を負ひたる椿事ありたり[illegible]を殺して爆發し辛は現場より約六[illegible]間の西方に吹き飛ばされて全身火傷[illegible]急手當を施し今尚ほ引續き療養中なるが兩人とも頗る重態なり

[illegible]柳川洞[illegible]萬[illegible]金[illegible]を[illegible]しめて告訴され[illegible]は咸興地方法院の公判に附せらる

胃腸最新藥

チゲスチン

十三ヶ國專賣特許　胃腸疾患、食慾不進、重病後の恢復期、營養補給の目的にて胸の疾患、小兒の營養不良等に賞用せらる　常用すれば血液を増し精力を盛んにす　◉說明書進呈　東京本町　製劑問屋　合資會社　圓城商廳

まちや

保證金女　明治町二丁目八十七番地　支那領事館前通　(擔保品)貯蓄債券當證買入　南貿店

白神洋行

仁川　ペイント、油類一切　コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル、帶革、ロープ、機械、工具、附屬品、其他　鐵鋼材　浪板、平板、針金、洋釘　新田帶革總代理店　京城

新荷著　ニッケル製懷中時計　アンクル懷中時計一八形……
（懷中時計・腕時計 價格表 [illegible]）
時計、自轉車、蓄音器、ミシン機、洋酒各國貨直輸入商　インダレッシー商會　本店京城本町二丁目　電話九七二番

天下一品　白鶴　增本酒店　仁川本町三丁目　電話一〇九番

難病者はお讀みなさい

◉醫者に見放され信心も其効なく不治の難症例へば腦病●眼病●脚氣●リウマチス●神經痛●肋膜●心臟●肺病●腎ぞう病●腹まく●中風症●耳鼻●咽喉病●梅毒●痳病●精神病●婦人病●胃腸病●腦神經衰弱等の病に苦む御方は是非一度哲理治療を御試しなさい不思議によく治り升

△論より證據▽ [illegible]　九月二十日　黃海道黃州郡[illegible]　鈴木天聲殿　李寬熙

京城本町五丁目電車終點前泥橋際　京城健全哲學館療院　院長 哲學士 鈴木天聲

皮革

精米研磨革　綴革　動力帶革　靴原料　青象本底
▼精米研磨革及青象本底は他に比なき最良品なり▲
釜山大廳町一丁目　三星商會　電話長七八〇番

電池革命の時代は來れり

專賣特許　第三一七二五號　第三四一七一號　第四一六六一號　第四一六六八號
蓄電池　充電機　トーヨー

お座敷の電燈から女小供でも簡單に電氣がとれ從來の乾電池と違つて何回でも入替が出來ますから永久お役に立ちます世間に類例なき新發明品で御値段も至極安價であります故試に一品御買上になり如何に國家的經濟品にして世界的價値を有し時世の要求に應じたる文明の利器なるかを驗せられん事を乞ふ

◎應用品の大略◎
手提電燈、自轉車燈、自働車燈、人力車燈、鑛山燈、玄關廊下、湯殿用、座敷用スタンド、煙草盆、電鈴、電話、醫療理化學實驗用、電燈廣告、裝飾電燈用、其他各種
◎地方特約店募集◎
詳細型錄說明書郵券二錢封入御申越次第贈呈

京城黃金町三丁目二四〇番地　朝鮮總代理店　山陽電氣商會　電話一四二五番　振替京城四五二八番

電話開通
番號 三千百番 別莊用
新築落成楓紅葉
京城旭町一丁目
松秀庵
白水
電話一三九一番 一七一四番

櫻御殿

第廿二回　大阪　霞の家主人

關ケ原合戰（三）

「合戰の終るまで、此の目が生きて持てるかの」と中の一人は斯う云ふ、他の一人は嘲るように

「清之丞は生きて還る心と見ゆる」と冷たい聲で云つた

「何うもあらうか、清洲に命が置いてあるわさ」

一座は嘲罵を浴びせかける、清之丞は自分の口から云ひ出した事が自分に恥を着る種となつた、眞紅になつて

「戰場で生きようと思ふ者があるか、死んで見せるぞ」

「お、美事にっ」

「何んでもない事、この命侍從樣に提げてある」

「面白い清之丞が死ぬいの、皆が聞きやれ、清之丞が死ぬといの」中でも、憎まれ者の一人は云ふ

「やれ、討死さま／＼」

一統は手を叩いて囃し立てる、清之丞は立つ瀬も無かつた

「さらば三左は？」

一人の壯士は興を持つて三左衛門に膝を向けた

「その樣なこと聞くのが野暮ぢや、お身達は何か、打ち出した鐵砲の彈丸が、再び元へ返ると思ふか」

三左衛門は固く押へるように云つた

「流石は三左ぢや、云ふ事に道がある、何うよ、戰場へ出るからは打ち出された筒の彈丸よ、元の姿で還らうかさ」

「すると三左も討死か」

中に念を押して訊いた者がある

「勿論ぢや、美事に」

「こりや面白い、清之丞も討死、三左衛門も討死、而たら後に殘つた初瀬御寮が何んとなると憎まれ者の壯士は煽てるように云ふ

三左衛門も眞紅になつた

「その時は俺們が引き受ける」

髭武者の一人は云ふ

「戲じや、貴樣も戀か」

「戀ではないが、落ちた物なら拾はうかい」

「はゝ」と一人は笑つて「貴樣も腸か腐れたの」

「言語道斷、腸が腐れたとは？、俺們の腸が腐れたとは？」

「さうで無いか、今初瀬を拾ふと云ふたでないか」

「悪いか、拾ふて悪いか」

「すんと悪い」

「何故ぢや」

「武士が馬糞食ふて面が立つか」

「馬糞？馬糞とは何ぢや」

髭武者は氣色ばむ

「馬糞でないかさ、初瀬御寮は馬糞でないかさ」

清之丞も三郎兵衛も、意地に絡んで命までも捨てやうとして居る戀人を、馬の糞と罵られては快くない、ぎら／＼とした眼を張つて睨く

「貴樣は盲目か、滿天下を尋ねても、彼の樣な美しい馬糞があらうか、初瀬御寮は清洲の城の花で無いか」

「此奴いよ／＼盲目と見ねた」と一人はます／＼嘲笑の色を浮べて「貴樣は面さへ好くばそれで可いのか、心は何のやうに惡うても、面さへ好くば戀ひ寄るか」

「心？、心」と髭武者は聞ひ返す

三左衛門も清之丞も默つて居たけれどもその默つて居る心の中は大聲で聞ひ返す髭武者よりも騒いで居た

「お、心！、貴樣は初瀬の本身を何者ぢやと思ふて居る？」

「初瀬の本身、女でないか」

「いやさ、心をさ、何の爲めに、清洲のお城へ入り込んで居るぞそれを存じか」

髭武者は默つて了つた

日報俳壇

三日月

門を過る兒に物道し三日の月　山與水
妻かも背戸に夜の三日月淋し　同
三日月の街路樹を算へつゝ歸る　同
きりかけに三日月懸り舗卷き始め　待宵
鐵の庭木の空に風あり三日の月　同
港出る灯ある船や三日の月　同
羽音せぬ三日月に小鳥群れ過ぐ　汀雨
偶鳩の猶鳴き居るや三日月　同
柳枝を垂れて音なし三日月　同
悔疫時に乗せ小舟や三日の月　未刀
手引き兒守唄の行く三日の町　芳宙

月

月の海靜濁の來ぬ靜な夜　待宵
島温泉出て渡船呼ぶよ月は明し　同
岬洗ふ浪ほの見ゆる海の月　同
月明り切り置く花や露しとゝ　同
琴二面月出づる方へ並べけり　月小夜
月の廊下に敷並びたり休みの日　同
月かはる窓に吹かる同じ道なり　芳宙

□當一夜吟（九、二十一）

唐辛、菌

□　浮碧樓
唐辛赤く退校ときめてはたらき
菌とくぐまりあるきひとり

□　田柿
茸飯の釜疾く据ゑてあり

□　句平
笹にとほした菌電車疾かり

□　華虹
油麺屋の低い屋根にあかく唐辛
納屋へ往來する唐辛四五本
土冷めたくひざまづきたる菌

□　鳥堂
菌の根の紫の土なりしかな

新刊紹介

◆新時代（創刊號）所謂る大雜誌と稱するもの、近時振はざること甚しきため一般讀書界は此の缺陷を補ふべき大雜誌の出現を渇望してゐたるが果然今回創刊せられたる『新時代』は蓋し此の要求を充すに一條、あるものなるべし其內容は內外の政治、經濟、軍事、教育、歷史、科學、文藝、宗教等を初めとして一般社會的記事並びに家庭方面の末に至るまで詳細に記述して此の種の雜誌中類例なし、眞に時代の活史たり（三十錢東京芝白…）

◆新民本（化學工業號）第二倍二百餘頁の冊子にして諸名家及び專門大家の化學工業に對する意見及び實地の業法等を滿載す（一冊十錢、東京麴町區內幸町一ノ五其社）

◆京城藥法（四四）一冊金八十錢、京城加二の六〇其社

◆獨逸語靑年（一の二）十五錢、東京本鄕區…町三其社

銃修繕　玉井銃砲工場　龍山元町二丁目　電話五三八番

垢ヌケする事

コレハ何デスカ

◇顏立ちは然う

整つてゐるといふ程でなくて、それでゐて不思議に人を引着ける、容子の好い、美しい婦人がよくあるものですが、然ういふ婦人は何處が立勝つて優れてゐるのかと見ますと、十中の

◇九分九厘まで

垢ぬけのしてる方なのです。これは少しお氣を附けになれば直ぐ解る事です。して見ると垢ヌケといふ事は美しくなるのに一番大切な條件です。現に女學校へお出での頃は、此娘は今に何うなるだらう、などとお母樣に心配をかけた方が、卒業なさると

◇急に女らしく

そして美しくなるものですが、これは卒業後は自然化粧の事などにも心を附ける樣になる結果、垢ヌケがして美しくなるのです。然りながら垢ヌケするといつても、唯漠然と身嗜みに注意してゐるのと、垢ヌケの理を知つて其れに適する樣にするのとでは、大きな相違が出來る事は言ふ迄も無い事ですから極く簡單に垢ヌケの理をお話しますと、人の皮膚には新陳代謝と言つて、陳い、きたない

◇汚れた表皮を

新しい綺麗な表皮と入換へる作用が具はつてゐるもので、此作用があるからこそ、人は長い年月を塵や埃や太陽の光の下に住つて來ても、古道具や何かの樣に汚れたり何かしないのですが、此皮膚の新陳代謝の作用を、自然の儘に捨て置かずに一層活潑にさせたなら、皮膚が美しくなり、容貌の美しさを増す事は

◇見易い道理で

あります。桃谷研究試驗所では、この點に口を着けて種々研究を重ね、學理上、また實地上、垢ヌケする點に就て非常な効力のある美容成分を研製しましたので、これを世に信用の厚い化粧水美顏水の中へ原料として加へて製へる樣になつてから、これまでも既に白粉の溶水として日本のメリヤスにも自由に…化粧が出來、また

◇粘り氣無しに

皮膚の荒れを防ぎ、また顏剃後に使つて剃刀カブレを防ぐ等の効用で非常に重寶がられてゐた美顏水は、垢ヌケして美しくなる力が一層強くなりましたので、益々世の信用を高めるやうになりました。美顏水は斯ういふ學理の研究を基として出來てゐる化粧水ですから、白粉の溶水に用ひたり、また朝夕の洗面や入浴の後、或は顏剃の後などに常用して居れば知らぬ間に、何時とは無しに直ぐに

◇垢ヌケのした

美しい容貌になるやうに出來てゐるのです。上中流の御家庭で益々美顏水が賞用せられるのも全く斯ういふ譯からであります。これから容貌を美しくする事に就て、御婦人方に今一つ御注意申上げ度いのは、日本の婦人は

◇兎角運動不足

の爲めに健康が優れず、其爲め顏色も美しくない方がよくありますが、健康上にも美容上にも、適宜の運動は最も必要な事であります。始めの寫眞は、昔希臘の國の妙齡の婦人達が球投の運動をしてゐる所ですが、此國の婦人達は體育を重んじて種々の運動で健康を養つた相で、容貌も美しい人が多く、美の神ビーナス、（中央上部）の樣な婦人達も中々少くなかつたといふ事です。

訂正増補第六版出來

大邱覆審法院通譯生　山之井麟治氏著……受驗者の必備書

鮮文 普通文官應試提要

小珍型紙製　五百餘頁　携帶至便　頗美本　定價金七十錢　送料金六錢

本書發行以來端なくも天下に及ぼせる反響は斯道の完全適切なるかは今更贅言を要せず是則ち本書が他に類なき著者の心血を濺ぎ完成せし結晶物にして偶然にあらざる所以なり依て一般讀者の耳目を聳動し版を重ぬる事六版に至れり今や更に第六版の新装成り面目を一新し以て諸士の御愛讀を期待しつゝあり

發行所　大邱　玉村書店

賣捌所　京城日報代理部　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番

スポンジタイヤーの提供

SPONGE TYRE & CO.　MADE IN JAPAN　MADE BY SPONGE TYRE & CO.　PATENT ON 27883

絶對にパンクの恐なし　耐力久絶大にて理想的タイヤーなり　長旅行道安全なり

空氣代用のタイヤーを外國にても多年研究中完全無欠の本タイヤーは我國に於て發明せられたり

日本　英國　露國　印度　佛國　米國　專賣特許品

朝鮮一手販賣　釜山本町一丁目　〇〇商會

新發賣　消化と毒けし　仁丹

金言容器

活用　能率增進　元氣回復　胃腸强健　精神爽快　香味絶佳

十五錢包に添付す

特長

○藥量……十錢包の二倍入なれば眞に德用

○金言……敎訓二章宛印刷し絶好の修養資料

○容器……紙製にて携帶頗る輕便

愛用家諸彥!!　一度お求め遊ばせ

內科（消化器病　呼吸器病）
小兒科
外科（內臟外科　局部疾患）
婦人科
皮膚科
花柳病科（肛門病根治療法　六〇六號注射）
入院隨意

院長　醫學士　齋藤勇
副院長　醫師　竹葉善松
其他各專門醫

京城下町五丁目（稻荷通前）
大和病院
（電話二〇一二番）

攝津灘　大塚釀造所吟製

發賣元　京城本町二丁目　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

貯蓄預金　元金百圓ニ付日歩壹錢三厘　金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店　京城黃金町　電話四二〇番・五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候